京城日報

十三日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 …
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○敵艦印度洋に現はる

日英兩艦協同驅逐中

海軍省公報＝獨逸假裝巡洋艦一隻印度洋に出現し日英兩艦協力して目下之れを驅逐中なり(東京電報)

○日英海軍の獨艇掃蕩

三月六日我汽船佐和丸愛蘭沖にて獨潜航艇に撃沈せられ稲井丸印度洋に於て遭難せるに付き日英兩國海軍協同獨艇掃蕩の爲め活躍を開始せり(東京電報)

○米獨衝突避け難し

と米人一般の觀測

米國政府は武裝せる米國汽船の船長に對し獨逸潜航艇は發見次第之を撃沈して可なりとの命令を發せんとするものゝ如し一般米獨の衝突は避け難しと觀測しつゝあり(桑港電報)

○墺帝匈國首相の激論

墺帝カール一世は匈牙利首相チスツア伯と激論の後急遽ブダペスト市を去れりチスツア伯の任を解きカフルニクエン、ヘデワリー氏を以てせんとの噂專ら行はれ居れり(巴里電報)

○墨國大統領當選

カランザ將軍は這回墨國大統領に當選せりとの報あり(紐育電報)

○外宮修理完了

伊勢豊受大神宮本殿修理完了せるより十五日夜遷御祭執行洗滌式十四日大祓式を執行さる筈なり(大阪特電)

○理研に御下賜

十三日理化學研究所創立總會を開催せり畏き邊よりは研究所創立費中に金百萬圓御下賜の御沙汰ありたりと(東京電報)

○御名代御差遣

聖上陛下には駐日米國大使故ガスリー氏の葬儀に對し兩陛下御名代として梨本宮同妃兩殿下御差遣在らせらる可し(東京電報)

○ガ氏遺骸護送

故駐日米國大使ガスリー氏の遺骸は帝國軍艦吾妻をして桑港迄護送せしむるに決定せり(東京電報)

○芳川伯辭職

芳川伯爵は家庭の破倫事件暴露されて以來皇室及び社會に對し面目なしとて謹愼中なりしが遂に意を決し樞密院副議長の職を辭する事に決し小田原古稀庵に在る議長山縣公爵の許へ辭職を申出たりと(東京特電)

▲後任如何　樞密院副議長芳川伯の後任には清浦奎吾子擬せられつゝあり(東京電報)

○遞信次官更迭

遞信次官湯河元臣氏は豫て辭表提出中の處十二日の閣議に於て後任決定し十三日更迭發表せらる可く其後任は目下閑地にある前臺灣民政長官內田嘉吉氏任命せらる可しと(東京特電)

○鮮銀新株好況

朝鮮銀行新株はプレミヤム三十五圓乃至四十圓の好況を呈しつゝあり(東京電報)

○兩博士來鮮

花井卓藏勝本勘三郎兩博士は十三日朝新羅丸にて著釜直ちに京城へ向へり(釜山特電)

○大井氏來鮮

辯護士大井靜雄氏十三日朝新羅丸にて著釜十時半發列車にて京城へ向ふ(釜山特電)

●支那特派大使を迎ふ

聖上に最高大勳章を捧呈……先帝を追慕し奉る……政局折合はん……青木中將……日支親善……莫大な土產物

汪大燮氏の車中談

鴨綠江の堅氷は輕暖の爲め稍ゆるみを見、春色漸く南滿の山河に動かんとする十二日午後支那の遣日特派大使前平政院長汪大燮氏一行を安奉線に迎ふ大使一行は十二日朝北京より奉天著、ヤマトホテル樓上にて

▲赤塚總領事 の招讌に係る朝餐會に臨み滿鐵差廻せる貴賓車に搭乘、滿鐵社員横山吏弓氏等の接待を受けつゝ南下して來たのである記者が特別車に乘込んだ時恰度大使は舊友たる横山氏のために六朝時代の著名な詩で舊友を懷かしむと云ふ意味の深い『紅豆生南國、春來發幾枝、願君多採擷、此物最相思』の揮毫をやつた所で傍人は日本の領土が近まつたから早くも日支親善の筆現だとて其の淋漓たる墨痕を賞し合ふ、大使は本年五十九歲敬虔篤實の君子其の一子は丁年を超ね目下英國劍橋の大學にあり、夫人は數年前逝去、其後氏は廣大の自邸に淋しき獨居を續けつゝあり[illegible]大使は低聲に且つ言葉寡なに通譯を介して語る『予等の此行は大總統の命を受け貴國　天皇陛下に最高の大勳章を贈呈するにあり、非常に重大の任務を帶びてゐるのだから、其の恙なく終るまでは諸君に多くを語り能はざるを遺憾とす』と前提する、北京政局の近狀如何と云ふ質問を發すと、大使は通譯を顧りに支那語の問答をやりつゝ

▲政況など は殊にお話しを致し難い、但し段國務總理も歸任し黎大總統との間に一時遠ざからんとした間隔も融解が出來たのであるから假令國務員に一二の異動を見るべしとするも政界の大勢は現狀を維持して行くであらう、段氏が留任し從つて其の權力を增大する爲め南方荷革命派の勢威を幾干か殺がればせねかと云ふのですか…』と語り續けたがフトロを切つて政局談は止めやうと云ふ『私は明治四十二年頃茲に御列席の横山吏弓君等と共に安奉間を當時の不完全な輕鐵で相往來した、其時の旅は車邊も惡いし不愉快極りなく草河口で一泊したが、安奉線大改築後は斯く善美を盡した汽車で心地よく旅をする事が出來るのは今昔の感に堪へん、新市廳側青木陸軍中將には出發前數回お目に懸り何彼と御高話を承はつた、實は私は獨居です然し邸は聊か手廣いので其の半ばを割いて中將のお住居に供しておる次第です、吾々の日程ですか、東京の章公使が委細のプログラムを極めて與れる事になつてゐるがまだ其の詳しい通知が參りません、然し途中神戸一泊十六日入京十七日貴國　聖上陛下に謁見仰せつけられ

▲大勳章捧呈 と云ふ事は間違ひない事と思つてゐる鄙見と申せば明治四十二年から三年半許り駐日公使をしてゐた、其間　明治天皇には一再ならず拜謁の光榮を荷ひ其の御高德は今に日夜御追慕申し上げて居る次第であります、今回歸路には京都に下車桃山御陵に參拜したいと思つてゐる　今帝陛下には北京公使時代御伺候申上ぐる機會は少なくなかつたが御即位後の拜謁は初めてであります。私は其御英姿を仰ぎ奉る時刻の一刻も早からん事を衷心より祈つてゐる次第です、歸期は旅程が決定せぬ位だから瞭然せぬが多分今月末か來月匆々と思ふ、何分日本公使時代朝野の知己が非常に澤山であるから其の歷訪ばかりも大抵ではあるまい、然し私にとりて最も名譽ある最高の待遇を餘り永く受けるのは恐縮だから國賓の御優遇は五日位で御辭退申上げる積りです、又勳章捧呈の狀況や貴國に於ける感想なども一日も早く大總統及び一般支那國民に告げ知らせねばならぬから自然悠々と明媚な貴國の山河を賞して居る譯にも行かないです、日支親善を如何にすべきかと云ふ事は今更事新らしく吾々が申すまでもなく日本と支那とは同文同種比隣相接してゐるので素より

▲東洋平和 のために兩國は親善でなければならぬ、又今日に於て親善である、親善であればこそ斯く大勳章の捧呈にも行く譯ですこれ日支親善の一現象ではないか、日本から團體や個人がよく支那視察に見ゆるですか、これからは何故行かぬと云ふのも然し支那から追々貴國に旅をする人も多くなる事と思ふ、支那に於ける色々の方面の發展を圖り、改良を企てるには貴國の進步した文物制度を視る事は頗る必要の事です』云々安東驛に著くと總督府より接待のため出張した高橋總督附武官、鐵道局の笹井參事補京城總領事の富士英氏並に田村安東領事、方東邊道尹、蘇安東知事を初め日支官民多數並に鐵路巡防隊約一箇中隊著劍捧銃して大使を迎へ、賑かな軍樂の吹奏が一頻り續く約二時間の停車中大使は頻々たる訪客に忙しく車中にて接して居た、七時半同じく軍樂に吹奏されつゝ安東驛發直ちに

▲長谷川總督 の接待に係る晚餐を認め、後寢臺に入つた、一行は支那公使館參事官劉宗潔氏を筆頭に侍從武官陸軍少將蔣戡光海軍上校陳復平政院評定官鴉彦潔等七名で從者が六名合計十三名と云ふ多人數である、又一行の荷物は大したもので大小取り交へ六十數個其の大部分は吾が皇室及び中央の樞機に參する官民の主な人々に齎らす土產物であると云ふ事であつた

□南大門驛に於ける汪特使一行(向つて右より駐日公使館參事劉宗潔氏、海軍上校陳復氏、特派使汪大燮氏、京城駐在總領事富士英氏)

◎辭令

二月十二日附を以て左の如く辭令ありたり

臨時土地調査局監査官　渡邊庄治
任臨時土地調査局副事務官　敍高等官六等五級俸下賜

臨時土地調査局書記　岡田兼松
任臨時土地調査局監査官　敍高等官八等五級俸下賜

朝鮮總督府道書記　吳國泳
任朝鮮總督府郡守敍高等官八等十一級俸下賜　咸南利原郡在勤を命す

朝鮮總督府道書記　金東勳
任朝鮮總督府郡守敍高等官八等十級俸下賜　江原道洪川郡在勤を命す

◎定例長官會議

總督府にては十三日午前九時三十分より總督臨席の上各部長官、官房各局長等出席通常政務に關し定例會議を開き同十一時三十分散會せり

◎東拓所長會議

東洋拓殖株式會社の各出張所長會議は十三日を第一日とし樓上會議室に開會午前十時より正午迄午後は一時より三時までにて石塚總裁、川上高瀨兩理事各課長各出張所長列席當日は終始各所長の管內狀況報告ありたり

□北京より

韓相龍

都大路は城壁を以て繞らされ、城壁には各國の砲臺羅列外兵之を衞る、北京は恰も列國環視の裡に、將又外國砲臺の下に在るが如き觀有之、往年團匪の件は、百年の餘孽を遺したるかと思ひ候。守兵歩々問誰何。當年團匪遺餘孽。行客傷心涕淚多。城內は車轂相摩、人肩相磨、塵煙濛々として頗る繁昌致居候、其の都會として規模の大なるに比し、我が京城は如何にも貧弱小く寂寞たる感を禁じ能はず候、我輩をして益々努力し、朝鮮の發展に盡さざる可からずとの感想愈深からしめ候。(三月九日)

四十里城通九門。角樓百尺壓平原。誰河圖作壞塹險。歷代鴻謨萬世存。

◎總督の臨場

中學校卒業式に

長谷川總督は十三日午後二時より舉行せる京城中學校卒業式に臨場し參列武官大島齋藤兩副官神田秘書官等隨從し宇佐美內務部長官關屋學務局長も參列せり總督は柴崎校長の案內にて式場に入り校長の卒業證書授與に次ぎ一場の訓告を爲し同三時歸邸せり

◎汪特使の通過

遣日特派大使汪大燮氏は劉參事官蔣少將以下を隨へ十三日午前八時著列車にて入京釜屋海軍少將三本鮮銀理事久水外事課長等の送迎を受け貴賓室に少憩後同八時三十分發列車にて南下したり

◎總督使特使出迎

釜屋海軍武官は長谷川總督の使として十三日朝南大門驛に支那汪特使を迎へたるが汪氏は總督の厚意に對し感謝の意を表し居りたる由

◎政務總監萩著

山縣政務總監は十二日萩著二泊多分十五日午後九時南大門著汽車にて歸任すべしと

◎國分長官歸任

春川地方司法事務視察の爲め出張中の國分司法部長官は十一日歸任せり

◎製肥創立總會

平壤に創立さるべき朝鮮製肥工業會社創立事務所に於ては本月十五日創立總會を開く由にて當日の議事項として發起人の作成したる一、定款承認の件二、會社創立に關する事項報告三、役員の報酬決定四、役員選任五、商法第百三十四條に依り調査報告の件六、創立費用承認の件等にして尙同會社百株以上の株主は左の如し

五百株林長太郎、二百株賀田金三郎、百株大橋恒藏、百株奧田延之助、百株川島孫七、百株竹中佐次郎、百株柴田鈴三、百株森本義爲、百株釘本藤次郎、百株下田吉太郎氏等なりと(平壤)

◎鮮銀新株好況

申込の割增最高卅二圓

朝鮮銀行增資十萬株中三萬株の公募は十二日より同行各店及び下の關京都の第一銀行支店にて一齊に申込みを受くる事は既報の如きが其の第一日本店に於ける景況を聞くに早くも內鮮人の商人官吏等よりの應募申込者續出しプレミヤムの如き銀行の最低所定は二十圓なれど氣受好調の爲め同日申込の最高は三十二圓を附し居るの狀況にあり尙ほ銀行にて株數申込單位を五株と定め居る爲め當初持株希望者の多かるべしと豫想されし下級官吏小商人等は殆んど手を引きたる形なりと

◎鮮銀券發行高

三月四日より十日に至る朝鮮銀行の銀行券發行高は三千八百五十二萬零三百五十一圓にて正貨準備發行は一千四百七十四萬一千四百五十六圓なり

◎花井勝本兩博士入京

十四日京城高等法院に於て開廷の朝鮮鐵道建設土木請負業者談合事件辯護人として花井卓藏、勝本勘三郎兩博士及び大井辯護士は十三日午後九時南大門驛著列車にて入京す可し

◎江華機業觀光團入京

京畿道江華郡織物組合主催機業觀光團は十二日正午南大門著列車にて入京し道廳にて松永道長官より一場の訓示ありたる後各機業場を見學し尙ほ引續き觀光の上十五日出發歸郡すべしと

◎大同江の解氷

さしも堅固に張りつめたりし大同江の氷も過日來の暖かさにて段々解氷しつゝありしが昨今に至り俄かに暖氣加はりしため平壤附近一帶は全部解氷し隨て對岸大同郡との交通は渡船を使用するに至れり(平壤)

◎取消　夕刊に朝鮮新聞五千六百三十七號が發賣頒布を禁止されたる趣記載せるも誤聞に付取消す

鳥致院

▲內地行往復切符　鳥致院並に忠南道當局より屢々鐵道局に對し交涉陳情する所ありし鳥致院驛よりの內地行往復切符發賣の件は愈々內地鐵道院との交涉圓滿に解決し來る四月一日より實施すべく內定せし由或る確かなる筋へ通知ありたりと因に貨物ホーム及び北行ホームの擴張整備も追て實施さるべしと

▲鈴岡副官滿期　忠淸南道內務部副官鈴岡正一氏は愈々本月末日を以て定年滿期となれるを以て來る四月五日公州出發鳥致院を經て鄉里廣島縣へ歸臥する由

▲市場整理問題　鳥致院年來の懸案たりし市場整理移轉問題は曩に小原長官赴任と共に乎が實施の急を要する所以を說き大に市民を覺醒する所ありし以來初めて實行の域に進み昨大正五年十二月鳥致院東南方の畑地約三萬坪の地をトして移轉整理工事に着手したるが恰も其の當時より本年初頭に掛け稀有の酷寒なりし爲め工事遲々として進まざりしが去月中旬以來天候漸く順調に歸したれば工程大に進捗し本月廿日頃には竣工すべく左すれば直ちに移轉開市を決行し爰に懸案の一は解決せられ鳥致院の面目は一新せらるゝに至るべし因に其の工費は約五千圓也

人事消息

▲內村安太郎氏(平南道鎭南浦府尹)　見學の爲め廿八日東上滯在一週間
▲小野鎭氏(朝鮮瓦電監査役)　十二日內地より釜山へ
▲白井永誠氏(辯護士)　十三日入京十四日出發麗水へ
▲高羽秀吉氏(鴨綠江合名會社)　十三日歸入京鏡尾旅館へ
▲花井卓藏氏(法學博士)　天眞樓へ投宿の筈
▲本田寺介氏(永登浦競馬場長)　十三日朝退京
▲鹽五郎氏(山下汽船會社員)　同上
▲秦秀作氏(平北第一部長)　同上
▲岡田三郎氏(藤田組安東出張員)　同上
▲末松四郞氏(奈川守備隊長)　同上

逐鹿夜話

△衆議院議員の選擧と云へば今日などは頗る進步したもので憲政會には江藤さんや政友會には安達さんなどの策士が公認候補だなんて候補者の顏觸れにも大分苦心して御座るが昔しの選擧を來た日にはソラお話になりませんでしたよと某老人の面白い懷舊談は斯うであつた

△昔しは政黨全體としての選擧區などは無く同一人が二個の選擧區で競爭して二區で當選すると云ふ珍現象もありました元田肇さんなどは大分縣の一區と九區で當選し鈴木重遠さんは愛媛縣の一區と四區で當選鳩山和夫さんなどは東京で九區と十區で競爭して兩方とも落選した事もありましたッけ

△三重縣の或る町では三味線の鳴物入で土地の醫者連を總上げにして飮めや謠への間憲法だの立憲政治だの卓を叩いて俄調の政論風發の合間には意氣な『二上り』や『三下り』が入ると云ふ飛んだ政見發表の演說會などもありました今から見ればネエ併し人間は矢ッ張りしつかりして居ましたよと老人慨愼無量

△此の間の事政友會の岡崎邦輔君の處へ太平洋航海中の汽船から無線電信が著いた開封して見ると現金三萬弗を持參す鄉里和歌山縣より立候補し度し宜敷頼む根來源之助とある和歌山縣人とあれば萬更ら他人でもないと本人の來るのを待つて居ると二日目にやつて來て立候補志望の次第を述べ公認を迫つた岡崎君一と通り聞き取ると『氣の毒だが候補は斷念し給へ惡い事は云はぬ折角貯めた三萬弗がフイになつたら直ぐ困るぢやないか』と說服して歸した相な無線電信で立候補の宣言は恐らく空前で絕後であらう

●此の呼吸で、露西亞へ 商品をドシ／＼送れ
地圖一枚が七留、但し裏は麻張り

露西亞から歸つた農商務省書記官野村廣氏は十二日の夜行列車で内地へ向つた『自分は這回露西亞の商工業視察の爲め殆んど北から南まで此の通り歩いた』と大きな

◇旅行券の裏書を 示した、露西亞では純スラブ人自身さへも國内の旅行に旅行券が要る、まして日本人たる書記官は泊るところの宿々に皆此の旅券を示して

♣警察署に 届けられたのであつた、裏書の印は三十以上もあつた、以つて露國北邊萬里の行程を知るに足るべしである『[illegible]に宇麗張りに哈爾賓の宿の疊に寢た時、私は何よりも疊のありがたさに感謝した』と言ひながらポツ／＼露西亞の土産ばなしが出る『露西亞といふ國は南方キエフを中心とした

♣小露西亞 もモスクワ附近の大露西亞も何れも廣漠たる大原野で月は野から出て野に入るほどの海のやうなところ、それが皆地味肥沃なる黑土帶の土地だから耕作するにも肥料が要らぬ、それに風のない爲めか所々の村落には亭々たる

♣細長い林 が繁り畑には播種した麥が自然に稔り、現に小麥だけでも一箇年十二億留を産するといふので其の一斑が窺はれる、其の他諸種の鑛物などを算へあげると國内無限其の天然物は實に驚くべきものである、思ふに露人の有する淡白な無頓着な國民性は悠[illegible]

◇大自然の影響で あらうと思はれる、されば廣い土地で金儲けの多き露西亞人は別に生活問題にあくせく爲なくとも氣樂に其の日が送れるのである、露西亞の商人が鷹揚で大きく

♣無頓着で 商賣人は客に對しお情けに賣つてやるといふ態度をとるのも此の爲めである、停車場の案内にも他國語を記して外國人に媚ぶるやうな眞似を爲ないのもその爲めである、そして百姓の上に立つ大地主は都會で樂に暮らして金を

♣パラ撒く といふ風で離れても頗る金使ひが荒い、されば日本の商賣などは目前の網で露人相手の商賣は鯨の網である、露西亞にも生き馬の眼をぬくやうな猶太人が居るけれども日本が將來此の一億八千萬の露人をよきお得意とするとは極めて大切なことである世間の人はよく

♣四億の民 を有する隣邦支那が大消費國であるといふ、無論それに間違はなからうが私は這回の視察で露人の高度な生活と金錢の荒いのにつく／＼感心して歸つた者の一人である、早い話が露西亞人と支那人とは生活の程度が異ふから將來の露國との貿易といふものは實に

◇國家の大問題で ある、然るに悲むべきことには這回の戰亂の爲めに獨、英、米の商品が行かず折角千歳一遇の好機會に出會しながら日本製品が無茶苦茶に粗惡だつた爲め非常な

◻大損害 を招いたこれは詰り哈爾賓に居る支那商人や狡猾な猶太人が殊更に廉價なものを註文して其の間コンミッションを摑みどりした結果であるけれども現に私が持歸つたバリカンなどは一個五六十錢の品で一度使へばポキリと折れるやうな安物で粗製品でなくて不正品である、これでは如何に露人たりとも

◻不信用 に思ふのは有理な次第、元來露人は品さへ良ければ値段のとやかましく云はぬ方で現に此のロシヤ地圖の如きも露都で一枚七留の亂暴な高價なものであるがしかし裏には麻の布をつけて保存をよくするといふ風で露人向きは却て此の地圖式で往かねばならぬ、そこで戰前の獨人は此所の呼吸をすつかり呑み込み全露西亞に於ける殆んど

◻七八割 の商品は全く一手に供給して居たのである、これには卸商人が長期の延取引に應じ獨立の大銀行がまた後援となつて爲替手形の割引に應ずるといふ巧妙なやり方を採つて居たので日本に於ても是非此の際官民一致して日露貿易の發展を圖りたいものである、猶ほまた露西亞は未だに官尊民卑の國で役人といへば非常に

◻便宜が あり現に私なども駐日クルペンスキー大使の紹介狀で無類の便宜を得、續々商品の註文まで託され中には何萬圓でも君に託送するから日本品を仕入れて呉れと依頼されたほどで此の點から見るも商務官を派遣する必要を痛切に感じた次第である

◆故ツ伯、伯林入の追懷◆
♣興奮し切つた其日の獨帝

航空界の巨星ツエッペリン伯は逝去した曾て大使館書記官として獨逸に在りし武者小路子爵は語る『私が獨逸に到着して間もなき一九〇九年の秋伯が

◻成功の 得意な顏を載せてツ式が始めて伯林入りを試みんとする時伯林の上下は好奇と歡喜とに充ち溢れて寄ると觸ると

◻其話で 持切つて居た其伯林入の前一日私はウンテルデンリンデンを歩いて居るとローカルアンサイガー新聞社の前に通り蒐ると多くの

◻群集が 社前に待ち合て取縋りして居た、私も群集の中に投じて社前の掲示を見ると刻々に到着する飛行船入京の情報を讀み狂喜して居るのであつた

◻其處へ ブランデンブルグの城門から一臺の自動車が御殊ましい警音を立てゝ通り蒐りつゝ群集の前に止まつたと思ふと

◻車上の 一紳士は突立て大音聲に『ツエッペリン伯は明日來るぞツ』と叫んで行き過ぎた振り返つて見ると夫は獨逸皇帝であつた翌日果して凱旋なる

◻雄姿を 伯林市民の頭上に現したツ式飛行船は青山練兵場の様な處へ着陸した皇帝皇后を始め高貴の人々がツ伯に握手

◻握手を 交換して口々に成功を祝福し歡喜の讃辭を呈した當時の光景は言葉に盡し難き熱誠があつた當時ツエッペリン飛行船といふものが獨逸國民に持て囃された事は

◻流行唄 にまで謠はれた事に依つても知る事が出來る開戰後英國を脅かし聯合軍を威嚇し多大の

◻戰績を 示して居る伯には私も宴會等にて面識はあるが魁偉なる容貌を持つた豪宕不羈の武將であつた』（寫眞はツエッペリン伯）

首相と小公爵=桂公爵法要の日

既報の如く故桂公爵法要は十日午後三時より芝増上寺に嚴修され同時に故公記念事業完成の奉告式を兼ね行はれた假本堂須彌壇には金色燦爛たる故公の位牌と風丰活けるが如き大寫眞額を安置しあり定刻澁澤委員長の先導にて當主廣太郎公は井上三郎氏及び寺内首相に左右を擁せられつゝ家族席に著き故公母堂未亡人を除ける近親外親戚の人々續いて著席し終るや導師山下現有老師一山の衆僧を率ゐて嚴かなる讀經をなし次で澁澤委員長は祭文を朗讀し廣太郎公以下近親親戚諸氏の燒香澁澤委員長以下參列諸氏の燒香あり午後四時式を閉ぢた寫眞は廣太郎公を擁せる寺内首相である（東京）

●評金を詐取す

[illegible]を作製し連帶證人二名の署名捺印を要するも其の保證人となり呉れる人[illegible]九十八圓を詐取したること發覺し本町署に引致取調の上檢事局へ送られ[illegible]にて懲役一年の判決を受けしを不服とし同覆審法院に控訴したるも棄却されたり[illegible]

●いよ／＼値上=四月一日から
藝妓に與へる配當金は五錢に改む

◆十三日を以て許可=壹夜通し線香=何處までも
◆立線香で計算=宴會には影響が尠い=遠出の時は

京城藝妓三券番から其筋に出願中であつた藝妓の一時間線香代七十錢を九十錢に改定するの件は十三日を以て所轄本町警察署から許可の

◻指令を受け たそれと同時に出願當時値上の條件の一つとして提出した藝妓に與ふる配當金三錢は警察の注意に基づいて五錢に改め

◻その配當金 は各藝妓名義を以て預金し預金通帳は何れも各券番に保管し置く事とし廢業疾病その他已むを得ぬ場合の外は拂ひ戻しに應ぜぬ事となつた、宴會その他の

◻約束線香は 五本三圓五十錢の定めであつたのが四本三圓六十錢となり壹夜通しの線香は二十四本半であつたのが二十二本となり遠出線香は二十二本半であつたのが二十本となり

◻次ぎに前夜 から引續いて午前二時以後になると五分過ぎても明し線香と稱して五本の料金を取つてゐたのが今度から二時前から連續して藝妓を席に置く場合は

◻二時が三時に なつても普通の立線香とし二時を過ぎてから改めて藝妓を招んだ場合に限つて五本の明し線香を出せばそれでいゝ譯で一時五十分に行つても普通の立線香で計算される事になつた、約束線香を四本にしたのは一般に取つては

◻別に不都合 はないわけで諸宴會の會費が今度の値上の爲めに高くなるといふやうな事は無く唯事實の上に於いて時間が短かくなるわけだが宴會時間としては四時間は大して長い方では無いが此の際

◻愈々打撃を 受ける事になつたのは一人密かに花紅柳緑の巷に出没して低個趣味に浸つてる連中だが何れ折花攀柳の風流に快を遣らんとする程の者には敢へて驚くべき事でもなく結局券番料理屋連中の

◻當初の目的 は達せられたわけである、然して値上げの實行は花に賑はふ四月一日からだといふ

◉生命保險會社 營業課長の萬引

名古屋福壽生命保險株式會社營業課長吉田忠治郎（四二）は名古屋支店にて萬引せし事露顯し十日拘引さる（大阪電報）

◉飛下りて負傷

十二日午後九時五十分頃京城電氣株式會社の南二號電車が南大門内停留場附近を進行中乘客なる黃金町二丁目松原三太郎が飛降りをなし打倒れて左眉間に裂傷擦過傷等を負ひたる騷ぎに逢[illegible]

[illegible]薬町一丁目今村醫院に擔ぎ込み應急手當を加へしが治療二週間を要すと

◉牡蠣船轉覆して 溺死四名行衛不明八名

十二日午後四時黃海道夢金浦沿岸沖合一町の所に出漁中の牡蠣船一隻潮流のため顚覆し二十餘名の乘組中溺死四名行衛不明八名を出し警察署より救助船出動中（夢金浦特電）

◉嬰兒の口に灰

咸北城津郡[illegible]面春洞羅姓女（三）は寡婦の身なるに昨年十一月二十五日男兒を分娩し世間態を恥ぢ直ちに嬰兒の口に灰を詰め込めて殺害し海坪里の砂地に埋沒したること此程發覺し城津署に引致取調べの上檢事局へ送らる

町内のご自慢

▲本町二丁目（第二部）▼
=改正前の四丁目五丁目

◻大きな旅館が 軒を並べる

本町二丁目は森脇總代さんの他に近江屋の細川さんが町總代、カフエーエビスの角から永樂町の十字路までは細川さんの領分なり、此の町は通りの中央にチンコカイがあるチンコカイは朝鮮語の謂ゆる泥峴の意味で今の

○古城其化堂病院のあたりは南山から佛國西教會堂につゞく岸つゞきでチンコカイの最もチンコカイたるところであつた、それで梅雨の雨天は素より冬になると坂一面の氷が張りつめ日本の奥様やオ孃様方がみなコロ／＼コロ／＼と滑りころがれ中には横轉逆轉の氣の毒な方もあつた、然るに治まる御代のありがたきは只今のやうな立派な街道となり平氣でショーウインドの品定めも出來るやうになつた、猶

本町二丁目第二部總代細川伊三郎氏

○此のチンコカイの名はむかしは日本人居留地一圓の代名的名前となり更に下つて本町通りを呼ぶことゝもなつた、京城の坊ちやん達の謂ゆる『お手ふつて、チンコカイに、ゆきましよか!!』は蓋し此所から出たものであらう、チンコカイの謂れ因縁が長すぎたれど町の名物は商人衆のお歴々、いそぎ候ほどに先づ瓦斯會社の坂に參れば右側には昨年十月から出來た鐵道小荷物の取扱所がある、織居から紀國屋、琉球の物産店の次ぎには茶舖の名物倉田青牛さんの青な園がある。

○偽り客はいつも喧嘩のやうに疑つて客樣の鑑定がお手のもの『俺は此のごろでは稍々見れる』とは恐ろしい、お次ぎは三和高麗燒も眼にとまる店、店の池田さんはボストン大學出のハイカラさんで近頃鍾路通の天日草製の手提鞄を米國へ輸出する猶ほまたお次は菓子屋の寒水堂さんから鳥の羽根屋の橋本さん北村帽子屋に山口吳服店、小野下駄屋に川合時計屋、中村砂糖屋、三田硝子ガラス屋とつゞけて云へば呼吸が切れさう、それに

○中村花屋と金ツバ屋とはあのチヨコマンチヨで[illegible]

三十圓、大家さんが佛蘭西教會堂とはこれも名物、次はまた釘本さんの掛値なしの鐵中錚々たるところから關繁太郎、梶原末太郎さんあたりさ來るさ宇治川の先頭に出しても恥かしからぬ大實業家京城銀行は弓場さんのお働らきで主として本町通り商人衆の取引銀行寄席には壽館があつてよく琵琶大會などを催ふす猶ほまた京城旅館は此の町が獨占で巴城館天眞樓、山本旅館、浦尾旅館は始んど一町内

○ついでに松金のてんぷらも御遠慮なく召し上れ

細川總代さんは古著商の江州商人で以前臺灣を視察したけれども那麼熱いところは此の商賣はテントあきまへん、そやサカイに寒い京城のしかも北向の此所に店舖を出した、古著商の眼から見ると神戸と京城とがよく似て居るとはどちらも寄合衆が多いからだ相な

灯ともし頃

十日の陸軍記念日當日、秋山陸軍大將宛一寸長い電報が來た▲それは會寧に馬を進めてゐる白水白孤峰將軍からで、先づ記念日を祝すると云ふ意味の前段はすぐ讀めたが▲後段は何を書いてあるか容易く判斷が出來ない、野津副官切りに首を傾けた末、それは一首の和歌である事が分つた▲『北韓は山に雪なく道八里、駒の背なかに春風ぞ吹く』とある▲道八里と云ふのは淸會鐵道現在の終點蒼坪より會寧までの八里を云つたものらしく、北鮮も春既に到つて雪も見ねと吟じたのだが▲將軍の左顧右眄して行つたらしい馬上姿が想見される

課題（文藝）募集規定

募集規程

▲用紙は端書又は[illegible]向形の半紙[illegible]枚毎に紙上の[illegible]住所氏名明記[illegible]

天くもり 曇一時晴（十三日午後六時迄） 三月十四日

日出 六時四十八分 日沒 六時三十九分 [illegible]

演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三 大正館

三月九日より引續き特別大興行 ●提供する三大寫眞と大餘興 ●喜劇マックスの劇中全二巻 ●舊劇俠客清水治郎長 ▲清州清水港出身の二男山本治郎吉は義俠に富み自ら俠客となり名も清水の治郎長と改め弱きを助け强きを挫き義によりて男子の[illegible] ▲[illegible]羽鳥松之助一派出演十八番 全三巻 ●[illegible]松之助一派の特選劇 ●大活劇第二快漢『ロロー』第三編四巻上場 ▲米國ユニヴァサル會社大傑作 [illegible] ●新派悲劇中の悲劇『夜の鶴』全三巻 [illegible]

早川直營 電二六三七 黃金館

△宮る三月十四日より特別大興行 [illegible] ▲大正美談『文明の復讐』全十八巻『蔚山白骨事件の眞相』 [illegible] ▲片羽鳥 [illegible] ▲泰西探偵大活劇カルロス（全四巻）『七時五十分』（第六）實劇 文明の復讐『九時より』

時計 賞品 金屬 糸岐商店 仁川本町（電話三七〇番 振替京城一一番）
精價 時計 十八金片十二石 [illegible] 金四十圓 至二月十五日

昨夜粗相の際は早速御駈付御盡力に預り以御蔭大事に至らず候段難有奉深謝候混雜中御尊名御伺洩も可有之乍略儀以紙上御厚禮申上候
三月十三日 京城本町二丁目 大阪屋號書店

謝近火御見舞
京城本町一丁目 江戸川 電話一四六番

昨夜出發の節は遠路態々御見送被下難有御禮申上候匆卒の際御挨拶も申上兼欠禮致候乍略儀以紙上御禮申上候
三月十三日 元京城醫院長 村上憲佑

金牌受領 本椿香油
髪を黒く長くつやを出しさら／＼として髪の拔けを防ぐこと

石炭 明治町一 村山商行 電話一〇五一

FAMILY HOTEL ファミリーホテル
市内四通八達の場所 土地高燥眺望絶佳 庭園廣く四節の趣 御料理西洋料理調進
客室 食堂 完備
[illegible] 京城南大門通三 電話一二八番

登錄商標 産前産後子宮病血の道の藥
婦人良藥 清婦湯
東京日本橋元大坂町 高木與兵衛 振替東京八六口
効能 月經不順 子宮病 [illegible]
説明 [illegible]
定價 [illegible]

信用ある東京日野製靴特價提供
ボックス皮 長靴 長サ 半長金五圓五十錢 本長金五圓八十錢
ボックス皮製編上 一號金貳圓八十錢 二號金三圓八十錢 三號金四圓八十錢
ボックス皮製鞭型 一號金貳圓九十錢 二號金三圓九十錢 三號金四圓九十錢
ボックス皮製深ゴム 一號金三圓八十錢 二號金四圓三十錢 三號金五圓三十錢
右は精撰せる材料と熟練せる技術とを以て入念に調製し一般實用紳士靴として最も好適なり御注文の節は靴の種類代金及足袋文數等詳細御通知被下度候御注文次第（送料實費）にて御送付申上候●最新型錄進呈す
東京府御用 東京日本橋幸町 日野製靴店（電話京橋三九番 振替東京九五一番）

◎可愛い、令息令嬢の英語會
評判のよい平壤兒童英話學會

平壤兒童英話學會は大正四年十二月頃、外人小學校の教師ルカット孃が
□非常に 日本人の小供が好きで近所の小供を可愛がつて居たが其內にも道廳の中島通譯の子息富士雄さんと云ふのがわけて仲よしで何時も往來して居る內に子供が片言交りに英語を聞き
□覺えて 話すのを中島通譯が英語に小供の內に不知不識の內に習はすと非常に發音が正しくなるのに氣付いてルカット孃に依賴して同孃の宅へやつたのが初まり、それから
□段々こ 富士雄君が英語が上達して來たので道廳の前二部長吉松憲郎氏の子息候郎さんが通ひだす、篠田一部長の令息も行くと云ふ風になつて段々と其れから其れへと傳へきゝ入會する人が增した
□今では 內村慈惠病院長の令息や、谷判事の令息鮎貝津村支店長の令孃やらで二十餘名の會員が出來たので每週一回土曜日に勉强する事となつた其內ルカット孃は昨年
□都合上 郷里に歸る事となり後任として現今のクリランド孃が來任したが同孃も非常の日本好で故郷米國イリノイス州ロツクランドで
□同胞の 敎育に從事した事があるのでルカット孃同樣兒童に英語を敎へつゝ今日に至つた次第で今ではたいがいな小供達も名詞は記憶してしまつて
□スペル を敎へて居る因にクリーランド孃も日本語の御稽古を昨今熱心にして居るとの事

♣春光普し牡丹臺
三迫星州畫伯の感想

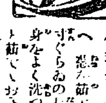
先頃江戸橋上に立つて軍事法規の違反を受けた畫家三迫星州畫伯は一週間前大阪より渡鮮し [illegible] 久松子爵等の齋に [illegible] るが氏は記者に語りて曰く私は明治卅七年日露戰役の際新兵で出征し武門の戰陣に參加しましたが今回平壤を研究して見たいと思つて參りました有名な牡丹臺も我々畫家の眼から見ますと今日より二十餘年前に見た時はご當として面白くなく昨日も春光普く [illegible] 牡丹臺を四方八方から畫に入れやうと思つて苦心しますが道が段々と造られたり新しき家が建てられたりして一向良い畫材が得られません近頃除幕巴あたりでは公園を造るにも可成自然美を傷けないやうにしてゐますし又家屋其他の建造物が破れたり傷いたりした跡は其儘保存するやうになつて居ります私は日清戰役の當時見た牡丹臺一帶の風景を今日に見る能はざるは遺憾に思ひます云々因に氏は引續き滯在して大同江を中心として平壤に於けるすべての風俗を畫かんとて熱心研究し居れり

◎流行の帶留め

近頃婦人の間に珊瑚や瑪瑙を應用して上品な帶留をつくることが流行しはじめて居ります。これは以前夏向きに
♣翡翠を 用ゐてこしらへたのが大層もてはやされたところからそれに思ひついて細工を試みるやうになつたのですが、春のものとしては色氣に暖かみがあり
♣彫刻も 高肉彫りでいふに言はれぬ旨味がある所からそれよりも猶ほ好まれてゐるやうです。大きさは小さいので巾二分から長さ七分といふ所ですが、大きいのになると巾五六分に長さ一寸といふのがあります
♣色こ石 の大きさによつてその圖をつけるのですが、今十人好きがされてゐるのは純日本風のものを圖案化したもので菊花、牡丹花、蘭、竹、金魚等をふつくらと彫り上げて
♣刀の味 を出すやうにしてあります。珊瑚、瑪瑙の外で應用されるのは紅玉、桃花石があります、桃花石は今まで餘りかういふものに用ゐられなかつたのであるが、桃の花のやうに仄かな
♣紅味を もつてゐるのが美しく石に艶があるので此頃は評判がよい、高肉彫の外では、在來の金銀細工のやうに透し彫にしたのもあります。然し金體にさつぱりした模樣が好まれて、以前のやうに
♣複雜な 手の込んだといふものはありません、組の生地は主に臨瀨ですが、これは持ちがよいのと地肌の手觸りが快いのとの特色があります、色氣は藤紫、青磁、青竹などの無地が萬人向きで、少し
♣粹向き になるとはき合せ、一本獨鈷、または洒瀟な刺繡を施したものがあります

◇△電氣仕掛の模型
大阪產業博の新設備

□四月一日より天王寺公園に於て開かるべき第八回日本產業博覽會の中庭には電氣應用の水力電氣の發電から電車、ケーブルカー、起重機等其他あらゆる機械を實地に運轉せしむる頗る大仕掛の模型を作る筈なるが
□更に又た美術館參考部に於ては近來特に發展膨脹したる海外貿易の狀況を最も具體的に一目瞭然たらしむには從來の如き無趣味なる統計不活動の陳列法にては觀覽者を滿足せしむること能はざるべしとてやはり近來流行の電力仕掛けと各種光線の應用にて悉く活動的の設備をなすべく先づ第一に
□大阪築港の關門外より大阪全市を見渡したる遠景に築港棧橋、突堤、燈臺は勿論、陸上に於ける大阪稅關海港部、上屋、倉庫の各建造物を模型を以て現はし之に出船入船重要なる輸出入貿易品を各貿易商の大きさにて作りしものを積み込み
□輸入船は港外より關內を通過して漸次川口の上流に上り行き輸出船は築港棧橋より漸次繰出して絕えず運轉活動せしむる仕掛けにて宛ら繁盛なる大阪港の貿易の狀況を知らしむるものにて興味の上から惹き付けて實益を得せしむることゝす而して尙ほ
□右遠景の大阪市の半空には星光燦く夜中の光景より漸次曉の色に變化し、やがて一大旭暾が昇ると見るや其太陽の各放射線には貿易統計表が或は國別或は年度別けにて赤、紫、黄、等七彩の光線に依り勃興しつゝある日東帝國の貿易隆昌の狀況を現はすものにて最も斬新にして奇拔なるものなりとす
□尙其上に自働裝置の活動寫眞幻燈を應用して各種製造工場の實地作業の有樣又は市內に於ける名所要所は勿論日々の出來事をも茲に映寫し坐ながらにして活動せる大阪の產業の狀況を概觀せしむる計畫なりと（大阪支局）



△刺身と葱の芥子和へ 葱を茹でゝ堅くしぼり一寸ぐらゐの長さに切ります刺身をよく洗つて砂を去りさつと茹でゝおきます、別に芥子をたて、揩鉢でよく摺りそれに少しばかりの味噌と醬油とを加へさきの葱と刺身とを入れて和へます芥子をたてるには茶碗に芥子粉を入れ水を注してよく練り日本紙を上に置いて上から水を少し入れ、赤になつた炭火を二三個さりかへて入れ水が少し減つたところで口を下にして伏せておけばしばらくして用ゐられます。刺身を酢にひたしておけば茹でなくともよろしいです茹でると大事な幾分も去るし味も餘ほど損じますの代りに [illegible] 用ゐても結構です

●眞言宗の火渡り 眞言宗鳳閣寺にては十三日午後六時より七時迄新龍山中之島臬橋工事新金の爲め世相工事場に於て大峰柴燈大護摩並不動火生三昧耶法修行、米者男女の參詣者數百名を渡らしむる由

讀者文藝（一等には五十錢の新作を呈す）

△物は付「手の届かぬものは」
○居候の掃除（一等） 京城大和町 春峰
△女手の無い酒所 龍山 小い草
△他人の世話 京城 頓珍漢
△天 京城 白 風
△惡少年の取締 京城 大平坊
△電話での喧嘩（先著） 大邱 山本生
△痒い所（先著） 平壤 南天子

商況

東京債券現物特電

十三日出來値
東洋拓殖	六三、五
京城電氣	六二、〇
朝鮮銀行	一七六、〇
朝鮮瓦斯	一一九、〇
南滿鐵道	一三八、五

東京公債直取引

十三日出來値
五分特別	九五、二〇
五分甲號	八二、一〇
一回四分	八一、一〇
二回四分	九五、一〇

深川在米特電

十三日現在高
朝鮮米	二四七、一六五
臺灣米	九一、六七五
地廻米	一八〇、五四〇

東京期米特電

十三日前場 五月限
寄付	一六、六六
高値	一六、五五
安値	一六、五五
止め	一六、五四

大阪株式

十三日前場 [illegible]
宇治川水、神戶電氣、京阪電鐵、和歌山電、合同紡績、鐘淵紡績、同上新株、東洋紡績、大阪商船、日本郵船、大阪米穀、東京株式、大阪新株 [illegible]

大阪期米特電

十三日前場 [illegible]

下關期米特電

十三日前場 [illegible]

雜報

●期米稍頓挫

當地の仁川定期市場は折柄の大阪高と [illegible] 米商中にて先限は成行きに益々高調を辿り今前場更に大阪高を入れ十三圓五十四錢を寄値として遂に十三圓六十二錢の
新高値を現出
[illegible]

衰へたりといふべきか元來近頃の仁川期米は
硬派の勢力聊か不
自然の人爲相場
[illegible]

米は弗の一角より崇り始め
定期或は正
[illegible]

米漸く十萬石に
露國の輸出
[illegible]

値鞘立つる程の價
[illegible]

毛織物類昂騰

[illegible]
自己の無謀
一層の高値
一段の昂騰
[illegible]

利 森仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話店用 [illegible] 本宅電話 [illegible]

●鰊は山東省へ

[illegible]
仕向地は皆
市價頻に騰貴

●毛皮の漸落

[illegible]
反動

●羽の海外輸出

[illegible]
直輸出を試み
績甚だ良好
百目三四百

●春こ夏の帽子類

[illegible]
幾分の安値
一割高の手合

本綿類好況

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

穀物市場（十三日）

[illegible]

生魚市場

（京城魚市場）[illegible]

釜山水產市場（十二日）

[illegible]

仁川期米

十三日前場
天候晴 大阪昨止より三錢高の入電二節〇九

仁川米豆取引所

十三日の五月限
前場	平均値段	
寄付	一節	十三圓五十四錢
止め	二節	十三圓五十錢
高値	三節	十三圓五十錢
安値	四節	十三圓五十錢
出來	五節	[illegible]

賣買取組高
[illegible]

市場零聞

▲頭重く伸悩む
▲人氣は大に萎り來
▲高値は買物薄
▲前場の手振
▲㊥能く賣る
▲㊦能く買ふ
▲市場閑散
止に小口商內に
▲依然保合
▲正米に異變

錢三節十四錢四節一
十八錢と漸騰の移に
人氣沸騰し六十二錢と更に新高値に
人氣頓挫し五十三錢と即く

購買入札公告

一、東大門公立尋常小學校講堂用敎卓外四拾點
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ十以上
入札者ハ當學校組合區域內ニ於テ營業ニ從事スル者ニシテ二ケ年以上府稅及當學校組合費年額參圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
右入札ニ付テハ契約書案、仕樣書及見本等ハ當學校組合ニ於テ說明スヘシ
時日明三月十五日午前九時限リ京城學校組合ニ入札ヘシ
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充之ヲ擔任ス
大正六年三月十三日
京城學校組合

東京米穀取引所仲買人
東京市日本橋區蠣殼町一ノ二
野瀨久次郎商店
電話浪花（五一〇二、五一〇三、五九一〇）
發信電報略號（シメ）又ハ（トウケイシメ）
受信電報略號（ニ一ヲ）

白神洋行 京城
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、ロ帶革、ープ、機械、工具、附屬品、其他
鐵 鋼 材
浪板、平板
針金、洋釘
新田帶革總代理店
【物價表御一報次第無代進呈】

朝 曾我商店 米
大阪堂島米穀取引所仲買人

最も信用ある東京三金の靴
ボックス製 長靴 本革 長
ボックス革製編上 金五圓五拾錢 金六圓也
第一號 金貳圓九拾錢
第二號 金參圓九拾錢
第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型
第一號 金貳圓九拾錢
第二號 金參圓九拾錢
第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム
第一號 金參圓五拾錢
第二號 金四圓五拾錢
第三號 金五圓五拾錢
右の均一靴は精選せる材料ご熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり
御注文の節は靴種類と足の寸法御知らせ次第代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝一六九番 振替東京一七二一三番

內科 小兒科
京城日出小學校前
多々見醫院
入院隨意 電話九四〇番

致富之菜……商索……送呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
片山政藏商店
堂島濱通一丁目
電話長北 六四三 一一〇一 一一〇一 一一〇二
多少に拘はらず御用命の程奉願上候

鑛山及船舶業
食鹽輸入販賣
平安南道新安州
合資會社 藤井組
社長 藤井千城

親切叮嚀 設備完全
春川旅館
江原道春川邑 電話三十八番

鑛石 鑑定、分析 委託販賣 紹介
鑛山 調査、鑑定 測量、設計 紹介
大阪市北區堂島船大工町二八
關西鑛業社
電話北一〇七四 振替大阪三二九一六番
規定拔粹
一定量分析は試料一種に付金二圓とす但一成分を增す毎に一金一圓を加ふ
一完全分析は總て定量分析の半額とす
一十日以內とす
一分析は五日以上拾日迄
一普通分析は一週間乃至
一分析量は五十目乃至二百目を提供せらるべし
一鑑定料は一廉金五十錢とす
一鑛石及鑛山の紹介の上談合せるべし
其他鑛業に關する事柄は成功の料は細大御相談に應ずべし

京城本町二丁目
熊平支店
全鮮御用 消防組

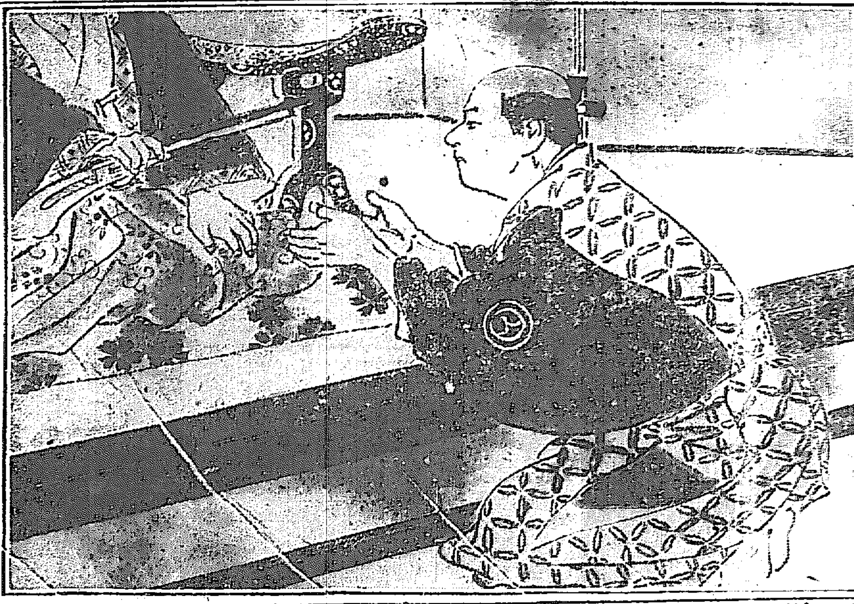
落葉松苗木販賣
▲芙江苗圃並に造林地御視察を乞▼
朝鮮京釜線芙江驛
支 圃 芙江苗圃
長野縣北佐久郡協和村
本 圃 愛樹園

京城 鍾路 東京 新宮 朝鮮本店

◎組織變更と業務擴張
當大正園儀從來尾崎哲之助一個人にて經營致居り候處各位の御引立を蒙り日增に繁榮に赴き候段奉深謝候然るに同人儀昨年淺野總一郞氏に從ひ米國に渡航致し彼地に於て種々園藝上の研究を積み過般歸朝致し今般澁澤男爵家及左記諸氏御後援の下に資本金十萬圓の株式會社を設立致し當園を其の經營に移し更に北海道渡島國上磯郡に百町步餘の採種場を新設し邦產蔬菜の採種を行ひ良好なる種苗の供給を計り且つ戶部信氏の經營に係る札幌洋翠園と合同し左記營業科目の通り業務に勉勵致候間倍舊の御愛顧を蒙り度伏て奉願上候
營業科目
輸入邦產草花蔬菜種子及苗木卸小賣
和洋式庭園溫室花壇設計請負
花輪花籠花束等の製作請負
其他草花鉢作切花農具類一式
役員
相談役 淺野總一郞
同 八木與三郞
專務取締役 礒野良吉
取締役 尾崎哲之助
同 戶部信
監査役 河野幾二郞
同 古川定次郞
兵庫縣西宮町
株式會社大正園
電話西宮八九番

明君道中記

第八十五席　田邊南龍口演



加藤肥後守忠廣侯は大島大覺を御寵愛なすつて日々傍を放さぬ樣な譯でございます、最も此の大覺は武藝ばかりにあらずして學問もありますから時々は御前に於て經書の講義などをいたします、忠廣侯は增々寵愛無二の者として居りました、處で忠廣侯一と歳江戸勤となつて江戸上屋敷は芝櫻川町でございます、彼の邸に櫻川といふ名代の川がありましたが只今は溝渠でございますが昔は大川でございます、此の上屋敷にあつて忠廣侯は時々駿河大納言殿の許へ出ます、大納言忠長公の御屋敷は一ツ橋内にあつて是を北の丸の御所と稱へて其の當時は大層な御威勢でございました、悉く惡意にいたして居る内に駿河大納言殿は行々家光公を除いて自己が將軍にならんといふ望みがありますから其の意中を明して加藤忠廣に助力を頼むと忠廣侯は是を承知して何事なく氣脈を通じて居ります、或一日忠長公が加藤家へお客としてお出になる、山海の珍味を積んで御馳走をいたす、時に彼の大島大覺も其處へ出てお執持をいたして居ります、忠長公が御手を翳して居らせられた手あぶりの火が少くなりました故忠廣侯是を御覽になり忠廣『ソレ〳〵』と眼で知らせました、それと心附いてお小姓の服部大五郎といふ者が大十へ火を入れて其處へ持つて參りつゝうとしたが過つて疊の上に火を落した、灰は立つ火は疊へ燃付く手も附けられないから大五郎は驚いて居ります、忠廣侯赤面をして忠廣『コレ何といふ粗忽なことである、早く火を取除けんか』と被仰つたが、徹々大五郎は顛倒て居ります、此時是を見て大覺が衣類の上著を剝ぬて下著の袂で右の火を火鉢の中へ入れ次ぎへ持出し火を直し元の處を拭いて其處へ火鉢を差出した、下著の袂は燒けても上著に別狀は無いから肌を入れゝば元の通りとなつて何の障りもございません、其の頓智は恐れ入つたもので能く遣ることでございますが、烏渡火を一ツ位して下さいと云はれた時に火箸で火を挾み下へ手を翳して持つて行くが、若し火が落ちれば火傷をいたします、あれが大きな心得違ひでございます、今大覺の振舞を御覽になつて忠長公は悉く感心いたされ、忠廣侯に對ひ　忠長『只今火を直した者何と申す者でござる』忠廣『彼は近頃國元に於て召抱へました者、大島大覺と申して大島流の砲術鍛錬の者でござる』忠『砲術者とは近頃珍しい、一と手見たいものである』忠廣『お望みとござれば申し付けませう』拉て大覺に申し付けました　大『畏り奉る』と予て身仕度を取つて庭前へ下り立ち、幸ひ雁ふの小枝に止つて居ります小鳥を射つて差上げましたから忠長公は感心をなされて此の大覺を御所望なさる、強てと云つて大島大覺を申受けることになつた、忠廣侯も外ならぬ大納言殿のことであるから結局彼が身の爲と思つて大覺を差上げました、それ故忠長公は喜んで伴れ歸り五百石も食祿を與へて砲術指南役を命じましたが爲に大島大覺は忠長公に仕へ忠臣の節を盡して居りますると、或日人掃ひの上忠長公大覺を召されて　忠『[illegible]大覺、予は其方を見込んで頼みたき一儀あるが善惡ともに聞いてくれるか』大『コハ存じもよらぬお言葉を承はるものかな、素より臣が命は主君に捧げましたもの故善惡ともに仰せは背きません』忠『其の一言を承つて予も滿足いたす、今大事を明す故決して他言いたすことは相成らんぞ』と傍にございました南蠻鐵摺下げの短筒を取出しました。

入院隨意　胃腸病院
京城府大門通二丁目七番地（舊湖農工銀行前）
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

無病長壽を希る人ありや　然して津村兄弟商會の人蔘エキスを知らざる人あり人蔘エキスに親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目電話一四八〇　津村兄弟商會

春が來た〳〵　木村屋パンとお菓子たもとに野へ山へ　（京城明治町 電話二八七〇）

毛皮なめし　防寒靴　スリッパ製造　大坂屋　京城黃金町三　地方代替郵送

三月十五日九星
舊二月廿二日丙辰
本命五黄八方除大安

▲五黄　意氣盛んにて反て散財を招かんとす注意新事見合す方は吉婚姻なし▲六白　心機一轉に赴くの日轉居入學等皆進んで吉女子は一層よき事有り▲七赤　凶難を去り新に福を迎ふるの日萬進んで利有り待人違からず來る▲八白　力身損さなること有とる日新事手掛事は吉一切のかけ引を愼す▲九紫　愉快の日轉居行商入學名譽求職縁談上金件斷證土工請負等萬吉▲一白　くれはまに來る事有る日新事手掛事は吉一切のせわ事を愼す▲二黒　お爲ごかしの事有る日新事手掛事は吉保證連帶せわがよし▲三碧　親子の中にも爭ひを生ぜんとす謹みの日新事手掛事は吉女子は行儀を守るべし▲四緑　不自然の事多き日新事手掛事は吉小兒衛生注意

東京小松　ぢの藥
●痔疾一切重症の●脫肛●痔瘻●現狀の●治する世に妙藥有り「ハガキ」にて療法の詳細說明書冊無代進呈す申込めば病原理由自宅治
●本家　東京京橋區疊町一　小松痔林堂
全國各藥店有　小松痔の藥指命乞ふ

縮緬兵兒帶　一筋二圓　勿驚極上物
破天荒の見切賣で評判を取つた東京市日本橋區本石町二丁目縮緬問屋日商店が流行の優美な高尚な水色や珍紋の縮緬兵兒帶の處分賣を始めたが其光澤と云ひ手際りと云ひ流石に農商務省の補助を受ける工業試驗所で仕上げた品だけに申分なき上等品也而も大巾一丈物先に七圓内外の品タッタ三圓八十錢に大巾八尺物先に四圓内外の品タッタ二圓と云ふ九で驚く許りの安價なこそ買ぬ者は損也けり且つ同店地方部設置滿五週年の紀念記念として兵兒帶一筋の注文毎に自然十八金色指輪一個呈し居る撮新發明に係る不思議の金指輪一個宛の無代進呈をなすと云ふ

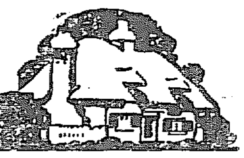
募集　○○○○男女年齡不問　自宅で出來る事務副業隨意　自宅で出來る事務簡易報酬確實　且つ將來大有望なる收入確實　ハガキで照會せよ（他に類なき事業）
京都新門前仲ノ町　日本商工通信社

胃腸最新藥　チゲスチン
胃腸疾患、食慾不進、重病後の恢復期、營養補給の目的にて腸の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血液を増し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町　藥種問屋　合資會社　圓城商會

りん病　急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋病一回十四日分一圓九十錢本藥は他店に御賣せず直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三　振替京城三三七番　山田文殊堂藥房

家傳　家具　京城本町三丁目　増田本店

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
內科　小兒科　入院隨意
無料施療す　每日五名を限り
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏



何うしたら安眠が出來るか

■不眠になり易き此頃の衛生
■腦神經病の人ヒステリーの人
■逆上―便秘―頭痛の療法

■此季節と腦神經

寒氣の頃は漸々暖かになろうといふ此頃から神經の惡い人や健全でない人は種々工合が快くなくなる。氣候の動搖、移り變りといふ事が、知らず識らず人の腦神經を不安にするからである。今迄折角落附いてゐた神經衰弱症の人が躁狂的になつたり頭痛や逆上や便秘や精神の憂鬱や頭腦の不明快等、此冬中忘れてゐた腦神經の故障が復たしても起つて來るのも此頃である。春眠曉を覺わずといふが其は健康者の話で、其睡眠が得られないで、夜中々夢を結ばれず、覺めての後も臆手して頭が重く、次第に記憶等も衰へて、精神が段々耗弱し行く……といふ風な事が始るのも今が最多い時である。

■睡付惡きは危險

人は睡つてゐる間に、晝間の働から出來る疲勞物質が去つて、身體精神の力が活き歸るが爲め毎日働けるのである。だから睡れないと疲勞が去らず身心共に衰へて來る。是が怖ろしい可き神經衰弱抔の因になる事が多い『私は何うも寢付が惡くて……』抔と平氣で言つてゐる人があるが、是は甚だ危險な話である。實際よく眠るといふ事は活動の母であつて、不眠症に惱む人々の血色の惡い顏色は、人生の幸福を失はれた徵候である。

■いろ〳〵の故障

不眠の次には逆上、頭痛、便秘、食慾不進抔種々の故障が起る。殊に小供等もよく此時分に齒が痛む、矢張逆上易いからで、逆上は大概便秘頭重を伴ふから從て眠られぬと云ふ相互の關係が出來る。要するに能く安眠が出來るといふ事は以上の種々の徵候が癒つた徵でもあり、又起らない原因であるとも言へる。

■安眠の方法と適藥

安眠の良法は室内を暗くして、光線の妨礙を除き、音響を避け、溫度を寢臺に過ぎぬ樣にし、著物や夜具は出來る丈輕く、食物を適度に用ひる事が肝要である。西洋人抔は寢る前に聖書を讀む、聖書の文句は六かしいから眠を催すに都合がよい。すべて變化のない事は眠を催す原因になる故に時計の音を數へるもよい。又日常の規律を正しくし、冷水塵擦抔を行ひ酒、珈琲、抔の刺戟を避け、節制を重んずる事もよい結果を奏する。そして直接に効がある適藥を服むがよい

■迂遠くない爲方

其適藥とは島村醫學博士が有効を證明されてゐる健腦丸を用ひる事である。健腦丸は誰も知る現今第一の腦神經藥であつて、腦神經衰弱、ヒステリー等の患者の人で、此藥に依つて好い結果を得た人は頗る多い。健腦丸の効能は迂遠くなく直接的であるから、一週間程用ひた人は直に其効果を知る事が出來る。殊に便通を快くし逆上を引下げ、記憶力を增進する著しい効がある。又平素飲酒する人、喫咽する人抔は持藥として少量宛服用すれば怖ろしい腦充血や、中風抔を未發に豫防するのみならず頭腦を明快にして、快活に仕事が出來る樣になる。故に不眠便秘抔の徵候は全然消滅して仕舞ふのである。健腦丸は有名なる丹平商會藥房が關西に於ける模範的工場と稱せらるゝ製藥場に於て幾多の專門藥學者が嚴密に高原藥の檢査をして、製劑したものであるから、尤も信用すべき安全第一の腦病藥である。健腦丸が腦病藥として東洋のみならず、近時海外迄も盛んに輸出せらるゝのは以上の理由である。藥價は半週分四十錢から十週分五圓迄あつて本舖は大阪心齋橋丹平商會、東京箔屋町の丹平支店、大阪平野町二丁目丹平分店で發賣し、全國到る處に賣捌いてある。不眠症の人先づ試みよ。

御料 御園白粉

百人が百人迄 白粉は御園に限る。

ご日本全國何地の御婦人も申合せた樣に仰言つて平常御家庭においてになります時にも又御外出の折にも必ず御園白粉を御愛用遊ばしますのは、全く御園白粉は季節や御年齡によりまして誰方の皮膚にも濃も淡も至つて手輕に美しく着き、よし濃化粧でも毫も態とらしいお姿に見ねず、薄化粧は十分に注意して拜見致しませんと御化粧して被居るのか又は御天性の美しい皮膚なのか殆んど見分のつかぬ程高尚な御化粧榮が致しますからて御座います

御料御園白粉本舖　伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元　丸見屋商店

(241)

京城日報
第三版
三月十四日（夕刊と合せて八頁）

桂公記念事業の完成

蘇峰生

大正六年三月十日、桂公記念事業完成に就き、記念事業會員主となり、其の法要を、芝增上寺に營む。該會は、故桂公の知友、其他直接、間接同公に縁故ある人々に因りて、組織せられたるものにして、其の事業の一は、桂公傳記の編纂也、二は濟生會病院に、桂公病室を設くる也。三は桂學術奬勵金の寄附也。今や三者完成せり、是れ其の奉告式を、桂公の靈前に行ふ所以也。

本文の記者は、實に記念事業三個の一たる、桂公傳記の編述者也。記者は記念事業會委員の委囑によりて、自から揣らず、此の頗る重大にして、且つ困難なる役目を引き受けたり。記者豈に自個の不敏を知らざらん哉。但だ過去十數年政友として、桂公と日夕接觸したる舊誼を思へば、義固より辭す可らざるものあり。特に公の此事に關する遺志を、熟知したる予を措ては、萬難を排しても、之を成し遂げざる可らざる義務なりと、信じたれば也。而して又た予が桂公に對する、恐らくは最後の貢獻なりと、思ひたれば也。

予は決して最善の力を效したりと云はず、唯だ此の短き二年間に於て、最善の力を效したりと云ふのみ。若し予一個の事業ならば、之が爲めに、十年の歲月を費すも、決して長しと云はず。但だ記念會の事業としては、時日に制限あるは、良に已むを得ず。故に予は一面其の經費を節約すると與に、編輯員諸氏を督勵し、全速力を以て、其の資料の收拾を勗め、全速力を以て、其の脫稿を勗め、全速力を以て、其の校訂、出版を勗めたり。若し本書に就き、遺憾の點多しとせば、其の一半の理由は、此に存せずんばならず。

予は此の機會に於て、桂公爵家、山縣元帥が、多大の援助を與へられたるを、感謝せずんばあらず。若し桂公爵家が、一切の書類を記者に開放し、山縣元帥が、桂公との往復書簡を、殆んど舉げて、記者に披示せらるゝ無りせば、記者は到底、此の傳記を成す能はざりし也。記者は實に根本資料の大半を、此中に把り得たりし也。其他傳記の主人公と、舊故の諸老先生、縁故ある各位の援助、亦た與りて力あり。將た編輯員諸氏が、克く記者の旨趣を體得し、之を實現するに黽勉したる、亦た茲に特記するの、必要なくんばあらず。

若し此書をして、記者の私著たらしめば、恐らくは其の面目に於て、多少の異同ありしならむ。但だ此書や其の全責任は、固より記者に存するも、記念事業會の事業たるを以て、記者は敍して斷せず、述べて作らず。故らに觸る可き急所を、迂廻したる事、一再ならず。然も記者は自から顧みて、敢て濫筆、曲筆、妄筆、誇筆なきを信ず。若し讀者に於て、不滿あらば、是れ記者と見解の相違に坐するのみ。記者に於ては、一點自から疚しき所なきのみ。

若し世に悲慘の事ありとせば、桂公の末路の如く、悲慘なるもの、未だ是れあらず。公が中間榮達の、龍に翼を附へたる如き、衝天、高飛の快活に比すれば。其の第三次內閣瓦解前後より、死に抵る迄の一年弱は、實に不幸の極と云ふ可し。若其れ公に假すに、數年を以てせば、公や必ず其の若き新經驗より新生活に入り、其の政黨の首領としての新境遇に順應し、捲土重來したるや知る可きのみ。公や衆流を截斷する底の、大力量あらざりしも、能く隨波逐浪的の活手腕あり、而して更らに乾坤函蓋的の大器度あり。大正の新時代に處して、其の新機軸を出し、新生面を開き、其の晩節に於て、一大光明あらしめたるや知る可きのみ。予は公の傳記編述者として、此の將さに來らんとしたる、大團圓の一幕を、公と與に世田ケ谷の窀域に埋めたるを、終天の遺憾とせずんばあらず。

今や我が帝國は、世界鼎沸の最中に於て、對世界政策樹立の一時に於て、國內紛爭、上下泥鬪、滔々たる朝野の君子、恰も看て日本帝國以外に、一物なきものに似たり。人各々其の信ずる所によりて行動す。吾人は決して、我が官民卽今の葛藤を見て、非愛國心の表現なりと云はず。されど國家の全局より見れば、不幸此れより大なるはなし。若し桂公をして今日にあらしめば、眞に所謂る與國一致の實を擧ぐる能はざる乎、否乎。死者復た作す可らず。今や寺內內閣の要職にある諸君の如き、憲政會に於ける幹部諸君の如き、何れも概ね桂公の政友たらざれば、其の門下生たり。知らず諸君は、死者に對して、忸怩たる所なき乎、否乎、吾人は唯だ一日も速かに國論を統一して、全國民の力を合同して、對外經營に從事するの日來らんことを祈る。是れ蓋し桂公當年の宿志たり。其の政黨、建立の如きも、要するに此の宿志を果す一の方便たるに、過ぎざりしのみ。諸君にして大悟一番せずんば、公や到底地下に瞑せざる可き也。

東京より

一記者

內大臣後任

○大山內府薨去以來既に十旬を過ぎ猶ほ常時輔弼の命を拜する者なきは國民の恐懼措く能はざる所也卽日內府後任銓衡の議起り遠からずして此の重寄を得べく機會の熟せるを聞くは慶賀に勝へざる所なりとす

○雲上の消息外間の濫りに揣摩すべき限りに非ずと雖も信ずべき筋より洩るゝ所にしては輔弼の重責に在るこの大官は世界の形勢と國內の情況とに鑑み內大臣の一日も空位を許さざるを悟り候補者の銓衡に關し相當の措置を執りつゝあるに似たり

○內大臣後任の第一候補者として上下の囑望する所は元老の筆頭山縣公たる勿論なるべし公の經歷德望は絮說を要せず若し山縣公にして此の重任に膺る能はずとせば松方侯を推すべきは無論の事也侯の經歷器材人格とは吾人の詳說を須ひずして天下周知の事實也內府の重任此二人を措て他に適材あるなし

○今や輔弼の任に在る者は望を松方侯に屬し匪躬の節を效さんことを勸告しつゝあるもの如し而も其經路が思召に出でたるや否やは姑らく報道するを得ざるも松方侯に此の交涉を持込みたるは既に消息通の間に了解せらるゝ所也

○吾人は松方侯が挺身して此の重任を拜し最後の臣節を致さんことを勸告せざるを得ず是れ實に松方侯が先帝の寵眷に報じ奉るの途也と信ずれば也。（三月十日）

支那關稅改正問題（下）

前支那總稅務司代理 ブレドン氏の意見

○千八百六十九年の陸路貿易章程第五條は『露國商人にして露國より商品を輸入し陸路天津に到る時は稅則所定の率より三分の一を減じたる輸入稅を納付せしむ但し張家口に留め置ける商品に對しては稅則所定の稅金を同所に於て納むべし』と規定し次に佛國も此例に倣ひ千八百七十七年東京雲南の貨物に對して特權を得英國も亦緬甸雲南間の貿易開始後之と同樣の特權を取得したり是等の特權は既に數十年を經過したるに拘らず依然撤廢せられざるに僅々十數年を經過したるのみなる沿岸貿易に於ける課稅を改正せんとするは不合理なり勿論西伯利亞鐵道に由り北滿（實際は總ての滿洲）に輸入せらるゝ貨物卽ち露國又は西伯利亞より輸入する生產品、海路浦鹽港に輸送されたる日本、歐洲又は米國よりの輸入生產品は滿洲里驛及び綏芬河に於ける清國稅關業務執行假規程（千九百九年制定）第二條により鐵道運送に係る貨物なる以上は輸出入共に清國海關稅則規定の稅率三分の二の稅金を納むることゝせられ更に北方黑龍江に到る迄の滿洲に仕向けらるゝ朝鮮及び日本の生產品にして汽車に依り鴨綠江を橫ぎり[illegible]に到るものに對しても亦其輸入貿易たると通過貿易たるとを問はず海關規定の稅率三分の二の輸入稅を徵する事となりたるが（千九百十三年五月協定）此等は鐵道協約、土地租借條約等と政治上の問題を根據とせる例外の例外なれば其の北境天津乃至緬甸の國境貿易の減稅とは同視すべからず

○加ふるに支那が沿岸貿易に於ける現行稅率は平均一分五厘の減收を見つゝあるも支那は一旦輸入稅を支拂ひて輸入したる貨物に對して通過稅又は抵代稅なるものを課するが故に輸入稅に於て失ふ所は之を內國稅に於て償ひ得るの便宜あり卽ち外國船に積載して出港する貨物はその眞に海外に輸送さるゝと然らざるとを問はず一律に之に課稅し結局一面に於て條約上確認せられたる外國貿易に對して課稅すると共に他面に於て古來沿岸を運送する貨物に對し課し來れる賦課金を代表すべき稅金を賦課するの自由を有し之によりて少くとも年九百萬兩の收入を收めつゝあれば優に輸入稅の減收を償うて餘りあるにあらずや

○右の意味に於ける內國稅は支那に於て輸出稅として解せられつゝあるも支那內地の各州又は各市に運搬せらるゝ輸入貨物に課する通過稅と其性質を一にすることを知らざるべからず支那と諸外國との條約は外國船に積載せられて輸送さるゝ支那貨物と同じく旣に輸入稅を支拂ひたる上更に通過稅を負擔することを容認するにより假令支那の所謂輸出稅が撤廢せらるゝとも輸入稅の減收によりて失ふ所は十分に補充し得べし又抵代稅なるものは如上通過稅に代はるべきものにして入港從輸入稅の全額を支拂ひたる外國品が復び五割の附加稅を納付することを意味す而して此附加稅を支拂ひたる時は通過證を與へられ其所持者は豫め申告したる仕向け地に輸送する途中に於ては如何なる徵稅所の下に於ても何等の課稅を受けざる特權を有するも此附加稅の支拂は明かに輸入稅の平均減收率たる一分五厘を掩ふべく支那が現實に從價五分の輸入稅を得る爲め稅率改正を主張することの失當なることを示すに足るべきはいはずもがな實際に於て抵代稅の額は從價の二分五厘以上に上ることなりとせず

○支那にして其關稅改正の目的を達せんとせば先づ此通過稅又は抵代稅等所謂釐金稅を撤廢せざるべからず現に支那自身も其不當なることを認め千九百二年の英淸條約第八條前書に於て『支那政府は生產地通過地又は到著地に於て釐金及び其他の稅を課する制度は商品の自由流通を妨げ貿易を阻害するものと認むるが故に玆に前八節所載の制限を以て右の徵稅法を全廢せんと欲す』といへるにあらずや

『公爵桂太郎傳』

桂公記念事業委員會が其記念事業の一として一切の責任と自由とを舉げて德富猪一郞先生に附託しこゝに完成を告げたるもの稿を改むる事三回年を踰る事二個年掛搦經營の候かくて乾坤二冊二千數百頁といふ空前未曾有の偉傳とはなりたるなり本書は主として桂公爵家に藏する公爵自傳、公爵手記の諸覺書、諸雜記、往復の書翰、公私書類等及び山縣公と桂公との往復書翰又は編者が公爵の晚年特に、其傳の資料として親しく聽き得たるもの等を以て根本資料の要部と爲し更に廣く引照し遍く聽いて苟も遺憾なきを期し群略叢簡は一に主人公を傳ふる事を以て標準として取捨すこれ固より當然の事に屬すと雖も而も桂公が一生を通じての周圍の諸公乃至時代の面影を一目の下に瞭然たらしめ得るに難からず編者がものせる長文の緖言の一節に曰く『公の傳記は此の如く 明治天皇の御宇を一貫するも之を諸先輩の傳記に比すれば傳奇的興味に於て稍缺くる感ぜずんばあらず公は非功の分捕に於ては其の遭遇の好運と其の出身の好機と其の材能の圓滿無缺にして將た其の堅忍自彊の努力とによりて一世に超絕したるも其の公的生涯を顧みて[illegible]不敏にして敢て斷器たらず是れ寧ろ公の美を濟す所以なるも傳記として無味無色乾燥平凡ならしむるは良に已むを得ざる也』とこれ亦公の偉大なる功業の輪廓を記したる好文字といふべきも唯併しながら『無味無色乾燥平凡』なる辭は到底本書に適用せしむべきものにあらず編者が該博透徹の識見と豐富闊深なる詞藻とは之が偉人傳中出色稀有のものたらしめて餘りあり啻に桂公一家の傳記としてのみならず明治史なるものの礎石として萬代に重きを爲すものたるを思はずんばあらず洵に之れ千古の史家司馬遷が心血を灑いて譔述したる史記と新井白石が嘔心を抑つて編述したる藩翰譜に比するも決して劣る所に非ず桂公の政治的生涯は好運を以て一貫し時人臧否の的となりたれば或は公を知らざる者にしては時に諸種の誹謗的綽名を以てせしと雖も公が若し偉大なる政治的手腕は天公をして其の諸を保たしめんか更らに其の大體格を發揮せしや必せり然り而して公は唯に政治的のみの人に非ずして彼の我維新戰爭の際の如き祖先の位牌を懷中にして奮戰し或は日淸戰爭の時は觀音の佛斷を守本尊として出陣せし等洵に床しく古武士的の面影亦存在す本書を繙き桂公の本領を見るを欲せざる者なかるべし晚年に於ける公が末路の悲慘なりし事は何人も知る所なり然ども半面に於ける公が最も有力なる知己の多くを有せしかは蓋し今日本書に見る者をして之を推察するに難からざるべし我維新の元勳にして或は明治の偉人政治家にして其の逝きし者多々ありと雖も未だ以て本書の如き浩瀚不朽の記傳の著述せられしものあるを聞かず然も編者は公が知己にして明治大正の文宗なり尚本書に於いて喜ぶべきの一事は桂公及び公と關係ありし諸名士の眞影等を數多く集め之を石版に附したるを始め公の肖像及び關係ある地方の寫眞地圖等を網羅したるにしてこれ亦優に好箇の史料として貴ぶべきものたり而して此等寫眞を挿入する方法に至る迄心し我が出版界初めて見るの製本術を案出して折込みて綴込みたり乾坤二冊之を十二編に大別し更に五十餘章を設け家系及び父母に筆を起し遂に公の疾病と薨去に至りて筆を結び附を盡くし審を極む附錄として年譜系圖、桂公年譜、索引等を揭ぐ用意の周到にして洩らす所無き又特筆するに堪ふ菊判布裝へ非賣品東京麴町區永田町二ノ十七[illegible]

日報詩壇

○雪曉　安東　琴雲
半點無塵曉色開、銀沙鋪地又鋪山。漁翁日出不迷棹、一幅橫披盧荻灣。
評曰　畫中逸品、詩中神品
古渡舟橫曉尙開、唯看玉塊漾波間。風來忽地搖瓊樹、戶鷺驚飛盧荻灣。
評曰　趣味天然
乾坤一白曉光新、琪樹瓊山無點塵。廚裏猶有前夜酒、陶然買醉忘身貧。
評曰　又有興味

○雪中郊行　兒島　九皐
埋山埋野又埋家、枯木疑看忽著花。最是風光堪畫處、霏霏雪裏兩三鴉。
評曰　淡掃太好

○春雪（限韻）　安永　春南
雪滿深溪壓萬松、梅花點點水淙淙。不知何處揭簾兒、回首香爐是後峰。
評曰　奇趣橫生

○病中偶成　古城　梅溪
可憫高陽一狂客、病來禁飲不啣卮。酒中詩味詩中酒、廢酒苦衷甚廢詩。
評曰　無限恨事

文曰　中生知己　是梅華　湖南小隱篆

大方君子の期待せる活社會の活字引

大正六年 國民年鑑

四八百五十頁の大册子 定價僅に五十錢 郵稅八錢

我が國民年鑑は國運の進展社會の發達に伴ひ年々其の內容を改善し特に多年の經驗は本書の實質をして益々完備の域に達せしめ今や日本に於ける唯一の年鑑として最高の權威を有するに至れり試みに大正六年國民年鑑の新特色を擧げんに先づ卷頭に
日本帝國の使命　侯爵 大隈重信
進取の氣象と武育的精神　男爵 上原勇作
戰後の二大經濟問題　大藏大臣 勝田主計
農村救濟策　農學博士 橫井時敬
大陸經營と日露貿易　男爵 目賀田種太郎
米國海軍の趨勢　海軍中將 佐藤鐵太郎
空中勢力の發達　陸軍中將 長岡外史
諸氏の最も時局に剴切なる大論文を揭載し政治、經濟、財政、金融、軍事、外交、產業、教育、宗教、衞生、美術、文藝、運動、演劇、遊藝、相撲等社會百般の事象悉く最新最近の事實に據りて調査記載し內容の精練記事の豐富編纂の周到にして一絲亂れざる而して特に印刷の鮮明なる歷然として改善と完備の實を證明す物價暴騰の今日八百五十頁の大册子を僅に五十錢の定價にて江湖に提供するは眞に奇蹟的至廉にして是れ本社が聊か滿天下の愛顧諸君に對する微衷の表現也

發行所　東京市京橋區日吉町　民友社

朝鮮一手販賣所　京城本町二丁目 振替京城四五四　巖松堂京城店
賣捌所　京城太平通一丁目 電話六六○ 振替京城三○○　京城日報社代理部　京城日報社各地支局

消毒化粧 アルボース の特に必要なる時節來れり何人も常に必らず使用を怠る可らず

三月十五日より三日間
格安片側帯賣出
京城本町　三越呉服店

四月號出でたり
幼年の友
仕掛付の表紙　動物園のお猿さん
おとぎばなし　赤公退治の卷
▼花の日比谷 ▼オヤオヤオヤ ▼お菓子屋さん ▼用意ズドン ▼しらぬひ姬 ▼おとぎ理科 ▼おとぎ唱歌 ▼ふしぎ問答
一冊十二錢郵稅五厘
東京市京橋區南紺屋町　實業之日本社

今や工業が一
國民教育 工業講話
東京高等工業學校敎授 芷田桂太郎先生編　同校敎官十五氏分擔執筆　菊判九百餘頁 挿畫十二 口繪三色版寫眞版約二十 カット約二百
定價參圓　郵稅內地金十二錢 臺灣樺太朝鮮支那四十錢
富國の基礎たるは爭ふ可らず。本書は此貴き工業教育及一般工業智識の普及の爲、高等工業教官諸氏が獻身的努力を以て執筆の任に當り、材料は普通教育の教材は勿論、我國に必要なる工業資料を網羅し、尙ほ歐洲大戰の影響を受けて新興の工業事項を加へたり。敍述は斬新平易簡潔にして而も專門的事實を失はず、且つ各種製造品の產地產額輸出入表等を揭げて其工業狀勢を明示せる等用意到らざるなし。小中師範高等女學校の教授資料、各種實業學校の參考書たるは勿論、特に製造工業に關する人士の座右必ず一本無かるべからず。
東京神田　富山房　振替五〇一

▲又復下遊る
▲[illegible]の手振り
▲空能く賣ろ
▲日の商內
▲現物界

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾五錢
發行兼編輯人 奥田直介　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社

○對獨斷交宣言時期

北京にては對獨斷交宣言の時期に就き十二日夜との說と十三日夜との說と更に二三日後ならんとの說ありされど一般は十三日宣言を見るべしと豫期し居れり（北京特電）

○支那獨斷交と我意見傳達

支獨斷交宣言愈々切迫し來りたるを以て其の以前日本の時局に對する意見を支那當局に傳ふる必要あり依て林公使は十二日朝著京歸任の疲勞を慰する間も無く同日午後五時段總理を訪問し歸任の挨拶を兼ね右時局に關する日本の意見を傳へたり（北京特電）

○敵艦印度洋出現と船舶

敵假裝巡洋艦一隻印度洋に出現せりとの情報に接す該敵艦の搜索並に之に關しては日英兩國海軍に於て相當の手段を講じつゝあり同方面を航行する船舶は務て其筋より通達の如く最寄英國官憲又は所在の英國軍艦に就て情報を聞き後行動するを安全とす＝其筋發表＝（東京特電）

○米護衛班搭乘通告

華盛頓來電＝米國政府は紐育外交團に宛て公式に獨逸の潛航艇封鎖區域を横斷する米國汽船は船體並びに便乘者の安全を保護する必要上武裝せる護衛班を搭乘せしむ可しとの通告を爲せり又國務省は今回海軍省並に船尾に武裝を施せる船舶の米國諸港に入港するは差支なしとの裁定を下したるを以て其の結果として米國及び聯合國の船舶は一般に武裝を施す事となる可し（紐育電報）

○露國食糧切符制度

露國に於ける食糧問題は切符制度を採用し之により持久調節を圖る事に決定せり（露都電報）

○コンノート妃御重態

英國コンノート妃殿下には肺炎にて重態に渡らせられ居れり（桑港電報）

○遞信次官更迭

十三日閣議を以て遞信次官左の通り更迭ありたり（東京電報）

正四位勳二等　內田嘉吉
任遞信次官
依願免本官　遞信次官　湯河元臣

○故米大使葬儀

既報の如く故駐日米國大使ガスリー氏の葬儀は十三日午前十時十五分築地三一會堂に於て執行さる當日天皇陛下には御名代として特に梨本宮守正王殿下を皇后陛下には梨本宮守正王妃伊都子殿下を御差遣あり儀仗兵として第一師團步兵二聯隊騎兵半個聯隊野砲兵一大隊を附せられたり因に靈柩は十一時東京驛發列車にて横濱に送られたり（東京電報）

○各隊へ聖旨傳達

侍從武官尾藤少將は十二日夜奉天着十三日各守備隊に聖旨を傳達せり（奉天特電）

○政務總監秋行

山縣政務總監は十二日秋に赴きたるが十五日下關經由歸任の豫定なりと（下關特電）

○奉天時局　形勢猶ほ混沌

奉天省官場の內訌は五十三旅長湯玉麟の新民府脫走後稍々小康の姿なるも湯旅長の背景となりて督軍に反抗したる二十八師長馮麟閣は表面督軍と融和したるが如くにして其實[illegible]張派閥將中部下の軍人と引續き氣脈を通じ居り[illegible]なれば此際兩派[illegible]手段を盡して善後の策を行ふ限り更に如何なる事變の突發を看んも測り知るべからず形勢猶は混沌たり別して新民府に脫出したる

▲湯五十三旅長の行動は大に注意を要するものあり彼れ昨今の行動に對し種々不穩の說を傳ふる者あるも皆謠言にして信ずるに足らずとの打消しもあれど湯將軍が新民府に在りて同地の商務會に五萬元の提供を申込み又奉天の旅團司令部に居殘れる部下に電報を發して之を新民府に來らしめ猶ほ馬賊又は土民を募集し之を縣知事衙門郵便局及び附近民家に分宿せしめ何かと身邊の警戒に努めつゝあるは事實にして其の態度甚だ穩かならざるものあり殊に調停役として來奉せし趙衛巣は歸京の途次新民府に立寄り湯旅長に對し切々と懇諭する所ありし趣なるも彼の態度猶は靜平ならず殊に最近に至り馬賊頭目兎子腦老二兒は部下全部を率ひ新民府に入りて湯の配下に投せりとの說もあり旁々にて

▲張奉天督軍は未だ其意を安んする能はず若し萬一新民府方面を警備する爲め東邊鎮守使の指揮下に屬する各路巡防隊を省城附近に召集し之を各部落に宿營せしめつゝあるが[illegible]新民府に移るもの[illegible]馮二十八師長は湯旅長との間に引續き何等か消息を通じ居る[illegible]北京に[illegible]中央より[illegible]傳へられ[illegible]ならず蓋し[illegible]

▲事の善後策に至りては調停役趙衛巣の意見なりとて（一）馮麟閣所部の第二十八師全體を馮師長と協定の上他處に轉駐せしむること（二）專任奉天省長を置き中央にて人選の上任命すること（三）專任第二十七師長を置き張督軍推薦の下に之を任命すること等傳へらるゝも其の實行如何は未だ明かならず併し張督軍が一身にて省長並に師長を兼ぬるが如きは永く許すべからざる事なれば近く夫々專任者を設けて其缺を補ふ事となるべく同時に張督軍は軍事會議の結果奉省軍防布置を決定し直ちに其の配置改革に着手したるが馮湯兩將軍との關係が之にて治まるべきや否やは疑問なり（大連）

◎農林專門科新設

十四日總督府令にて朝鮮總督府農林學校專門科規程を發布し四月一日より施行の管右規程は全文七條より成り農林學校に專門科を設置し高等普通學校中學校卒業程度の鮮人を收容し農林等に必要なる智識技術を授くるにありと

◎工專鑛山科新設

十四日總督府令を以て京城工業專門學校規程中改正の件を公布し來る四月一日より施行す可く改正の要旨は京城工業專門學校既設學科の外に鑛山科を新設するに在り

花井博士談

鮮人教育＝朝鮮滿洲研究
朝鮮より立候補の代議士

春の日のどんよりとした夕暮記者は水原驛で花井勝本兩博士等一行の列車を待ち受け大略次の樣な話しを承聞した先づ花井博士は記者の問ひに對して曰く

朝鮮には數度來た事はあるが何にも特別の感想とてはない、考へて見給へ我々日本人が內地に居てすら內地の感想はと問はれて容易に話せるものではない。况してや全く知らない朝鮮の事に就いては輕々しくどうのこうのと話せるものではない。勿論內地人としては朝鮮滿洲方面の事に關しては

▲多大の希望と豫期する所はある併し精細に內情の觀察を遂げない以上は慥うだと言つて斷言する譯には行かない我々は是非此の朝鮮滿洲方面の事柄に就ては眞面目に精密に忠實に研究して國家に貢獻する政治家の出る事を衷心から希望するものである教育にしても鮮人の教化と云ふ事に關しては隨分研究の餘地の存する事は言ふ迄もあるまい精神的に道德的に鮮人を同化させると云ふ事は誠に必要な事であるが要するに

▲鮮人の智識情態を遺憾なく探究し其れに順應せる中庸の歸趨を確かと捉へ其れに依つて同化せしむると云ふ事に目標を置かねばなるまいと思ふ、それから今度の選擧等にも朝鮮の所謂成金連で旗を揚げるものもある相だが其んな事は敢て歡迎する要はない只眞摯なる朝鮮青年の社會に勝躍する時の速かなん事を希望する

◎民刑取扱件數

本年一月中總督府裁判所及び檢事局に於て取扱ひたる事件數左の如し

▲民事件數　新受三萬六千九百九十七件、舊受三千四百八十六件、合計四萬四百八十三件にして終局したるもの三萬六千九百三十件、終局せざるもの三千五百五十三件、前月に比すれば新受一萬二千四百六十八件、舊受四十六件、終局したるもの一萬二千五百八十六件を減少し終局せざるもの六十七件を增加せり

▲刑事事件　新受二千二百十件、舊受四百四十三件、合計二千六百五十三件にして終局したるもの二千四十八件、終局せざるもの六百五件、之を前月に比すれば新受百十六件、舊受六十三件、終局したるもの三百四十一件を減少し、終局せざるもの百六十二件を增加せり

▲檢事搜查事件　新受四千三十四件、舊受八百七十七件、計四千九百十一件にして終局したるもの三千八百九十八件終局せざるもの一千十三件、之を前月に比すれば新受九百四十件、舊受六十七件を減じ終局したるもの一千百四十四件を減じ終局せざるもの百三十六件を增加したり

◎鮮鐵荷動概況（上）

二月下旬の鐵道貨物の荷動狀態を見るに發送噸數四萬三千九百九十九噸、收入十三萬百八十二圓にして之を前年同期に比較する時は數量に於て六千二百八十四噸（一割六分六厘）收入に於て三萬四千二百四十七圓の增加を示せり今本旬中出荷の主なるものを揭ぐれば左の如し（單位噸）

米	八三一三	石炭	六五九六
鹽	三九九四	木材	二二一五
大豆	二一五四	鐵石	一六八七
豆粕	一六七〇	鮮魚	一〇二〇
雜穀	九九七		

主要貨物の出荷概況次の如し

▲米　市場は依然閑散にて上向かず一般賣惜みの姿なれば新規引合少きも冬季騰貴時に於る約定米の積出し未だ全く終らざる爲め本品の荷動は引續き盛況を呈し一日平均千三十九噸を出荷し前旬來主要貨物中の第一位を占む

▲[illegible]　需要の輸出は依然相當取引行はれ本旬に於ては南大門鎮南浦等より合計三百十一噸を出荷せり

▲石炭　安東縣撫順炭の逆炭復舊により荷動活況を呈し前旬に比し四百五十噸を增加せり然かも前年に比し百六十六噸の減退を示せるは前年は暖氣のため鎮南浦港は二月下旬には早くも汽船の出入容易にして從つて平壤發無煙炭の輸送は例年に比し著しく進捗したるに因るものなり本旬に於ける內地炭の輸送は仁川發四百十八噸釜山發二十六噸計四百四十四噸なり

▲鹽　需要期に入りたれば出荷益々旺盛にして前旬に比し四百五十八噸を增加せり今後當分は荷動衰へざる可し總數三千九百九十四噸中鎮南浦發千九百二噸（四割八分）仁川發千四百六十四噸（三割七分）を主なるものとす

◎咸北乾草製造

咸北道にては一般農家をして乾草の製造を獎勵しつゝあるが大正五年中の製造成績は全道畜牛飼養戶數五萬二千七百四戶中乾草製造戶數四萬二千八百十五戶にして其製產乾草八百六十七萬五千八百二十五貫にして製造者一戶當り二百四貫となれるが之を大正四年に比すれば約二百萬貫の增加を示せり而して乾草製造獎勵の結果は冬季間の飼料潤澤なるが故に牛體を疲憊する事なし又た從來の如く飼料缺乏に苦み安價に放賣するが如き事なく牛價の調節を得るに至りし其效果著しきものありと（淸津）

◎優良保線區表彰式

三月十二日午後二時鐵道局特別室に於て大屋長官各課長其他關係員立會の上第二回優良保線區表彰式を擧行す

◎花井博士等入京

既報の如く花井、勝本兩法學博士並に大井辯護士は十三日午後九時三十分南大門驛著列車にて入京花井博士大井辯護士は浦尾勝本博士は巴城館へ投す

◎高橋武官歸期

汪大燮氏一行を安東より釜山に送りたる高橋總督附武官は十四日朝若くは同夜歸京すべし

◎野手南浦稅關長

野手鎮南浦稅關長は書記二名を隨へ十二日新義州稅關支署に於ける事務視察の爲め出張十六日歸任すべし

◎山田松熊氏逝去

久しく東京市本鄉區眞砂町三十番地の自宅に於て病氣療養中なりし朝鮮銀行庶務課長山田松熊氏は終に十三日午後六時逝去せり

◎警部考查試驗

現任巡查より警部に拔擢すべき考查試驗は十三日より十四日に亙て警務總監部にて施行す

支那遍歷（第四信）　中島生

北京より天津　山海關の月

三日午前十時四十分奉天驛を京奉鐵路列車にて發す。陸宗輿氏も矢張り同車せり。京奉線は英國の資本と關係ある故、機關車も英國式なれば客車も頭等車（一等車）は英國流の設備に成り居候。一週一度の急行列車は例のトラン、ドルックスとて餘程ハイカラなれど、普通列車は噓かし不便かと存じ候處、決して左にあらず、悠々として膝を擴ぐるに充分なり。但だボーイ英語を知らず、日本語は更なり、此點不自由と云へば不自由なれど、同じ人間殊に同文の支那人の事とて、手眞似と文字にて兎に角用は辨じ得られ候。車掌と食堂のボーイとは相應に英語を語り候。奉天より同車の客に一人の米國人あり、ローゼンバウムと云ふ紐育の醫者にて日本より朝鮮を經、支那を廻りて、非律賓、印度等を八箇月の豫定にて旅行するものゝ由。何時しか言語を交へ、數時間の後には別懇の間柄と相成候。食事も一緒にし座席も一緒にし、寸時も小生の傍を去らず、餘程の樂天家にて、自分の旅行免狀から財布から時計、指環、さては如何はしき繪まで一切合切取り出して示し、小生をして應接に遑なからしめ、果ては汽車中で柔術をやらうと言ひ出し、之れには閉口致候。その代りお蔭樣にて四顧索寞たる沿道の光景にも、欠伸一つの餘裕さへなく夜半まで愉快に時を送り得たるのみならず、英語の稽古をなし得たるは又旅行中の儲けものと申すべき。山海關は夜十時に近し。澄み渡れる空に星の影明かに、古關を照らす月斜也。驛頭に日本兵の立てる大に人意を强うせずんばあらず。

大正六年三月五日朝北京にて

◎警察官辭令

昌德宮警察署勤務警部　佐土原岩雄
京畿道警務部在勤を命す
永登浦警察署長警部　沖本正晴
昌德宮警察署勤務を命す
咸南警務部勤務警部　古屋清意
永登浦警察署長を命す
安城警察署長警部　淺野長太郎
咸南警務部勤務を命す
木浦警察署勤務警部　吉野榮平
安城警察署長を命す
林田行眞
入佐宗計佐
任朝鮮總督府警部（冬通）
朝鮮總督府警部　林田行眞
木浦警察署勤務を命す
朝鮮總督府警部　入佐宗計佐
咸北警務部勤務を命す

南言北語

露國でも英國でも亞米利加でも內部には其れ〳〵黨派間に大分議論があるらしい▲獨逸でも外部に向つては上下一致して居る樣に見ゆるが內部には却々議論が沸騰して居て▲宰相ベートマン、ホルウェッヒ派と副相のチルピッツ派とは盛な爭論を惹起して居る▲ホルウェッヒ派は主に露國を討ちクールランドを合併し巴爾幹の中殊に塞耳維の東北部は讓堡バグダット聯絡の理想に取つて何としても領有せねばならぬと主張し▲チルピッツ派の目的は西方にあつて英佛白を壓倒して了はねばならぬと云ふ論だ▲詰りホルウェッヒ派は陸に重きを置きチルピッツ派は海に重きを置くが何れも例の世界政策を基本にして居るから今日迄辛に大きな衝突がない▲而し今の處先づチルピッツ派の勢力があるから潛航艇戰策なども大に獻進せられて居る▲だから何方かに失敗が出來ると兩派の大衝突を來し遂に國內から碎けはせぬかと評して居る外字新聞もある▲潛航艇と云ば獨逸の假裝巡洋艦が一隻印度洋に現れた相だ▲鳥渡狂犬が飛び出した形だが大西洋上や地中海邊で傍若無人の味を締めた樣には行くまい▲太平洋上の裝巡洋艦位には固た過ぎる▲マア柳の下に居る鰌の骨はチト獨逸の[illegible]それこそ飛んで火に入る夏の蟲と洒落た處が落ちだらう▲去る五日東京帝國ホテルの桂公事業報告祭の記念宴に參會した野田大塊翁が例の通り半紙に書いた▲『月の梅空に巨頭の盧遮那佛』と小腐事岡部長職子が直ぐ後を付けて▲すると隣座の俳號豆『此處ちや作者も小人島かな』と應じたので一座覺わず哄笑

心無罣礙樓淸集次心田翁舊製詩韻以贈席上諸公且以自遣　天彭　今關壽麿

三月餘寒似暮秋。掩門晝坐此書樓。
中壘寶五千頁。聊遣先生萬古愁。　明文

蕉雨人
溫如美玉氣淸秋。笑倚白雲深處樓。
天上神仙成眷屬。人間詩畫寄閑愁。

筆開花月自春秋。十載蟠書不下樓。
羅麗文章遺後在。風前無奈古今愁。

閱盡江湖五十秋。藥爐茶鼎日憑樓。
南山雲色朝昏變。也是悟餘多少愁。

遊城彈劍雁橫秋。水國吹簫月滿樓。
才思壯心看欲盡。可憐多病又多愁。　自贈

自動車學校

本校は東洋唯一の認可運轉手及修繕製作技師養成▲普通學夜學及校外生の三科共年齡不同採用半年卒業規則送付す自動車界は內外共益々多事成功の近道也▲東京市京橋區南紺屋町

店員一名採用

市內某大商店に於て年齡二十五六歲前後にして酒類販賣得意廻りに經驗あるもの一名採用す希望者は履歷書及希望の給料を認め左記宛至急申込まるべし

京城日報社廣告部

小野鵞堂先生題詠　工藝文哉先生題詠　京城高等女學校教諭　島村不老編書

臺本　習字用　淸體かな帖

定價金四十錢　郵稅金四錢

本書は女子習字教授に於ける常に假名書の淺易なるを訴へらるゝより學校敎科書以外特に假名自習の方法を取りつゝあれどもその採用せんとする手本中には或は高尙に過ぎ或は實用に適さざるありて容易に適當なるものを見出さざるより今回特に初學者の爲めに假名書法の基礎的練習を爲さしめ他日消息文其の他漢字交り文等の練習書字に益せしめんか爲め一字一字の字形及運筆等を平易に何人にも解し得べき樣編書せる良書也

發賣元　京城本町一丁目　電話二〇八六番　振替京城三五三番　大阪屋號書店

新株募集申込

三月十七日限り

朝鮮銀行

◎文學士寺田精一先生監修　一冊十二錢　郵稅五厘　六冊郵稅共七十錢　十二冊稅共一圓卅錢

トモダチ

四月號　幼年繪雜誌の第一（手工附錄）　クワッドウ。ハナサカヂヂ

◆美しい繪と面白い噺が滿載　◆每號大懸賞あり　◆全國書店に販賣

東京九段上　二葉社　電話番町四〇三二　振替東京一八五三六

開院廣告

京城西小門町一二番（舊菅醫院跡）

田中丸病院

院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫

電話　一三一五番　八八一五番

化粧用　洗濯用　角形石鹼

元祖　浦本石鹼工場

京城　電話二二九四番　振替三二三九番

…貿易總額二十三萬二千八百四十九圓…總て七十五萬弱即ち四十四萬五千三…圓同輸入十二萬五千六百六十七圓同百二十六圓を激増せり而して之を過去に見るに明治四十三年同地に於て移入十萬二千三百十二圓合計百三萬…り而して通過輸出の不振原因に就ては主として露貨の關係、運賃の高率及び支那人間の商取引上に於ける決…

▲甲山鑛山の… 甲山鑛山は起業工事の基礎大體完成すると共に客年十二月二日精鍊事業を開始され所要の…運搬の全部を充し得ざ…以て咸南…新昌線には運搬自動車…を使用し…架するの計畫にて經費六十萬圓の豫…鑛業は昨年著しく…

京城中學校卒業式

死地を踏まずんば善士となること能はずと校長の訓諭

總督臨場 京城中學卒業式

十三日午後二時より京城中學校第五回卒業證書授與式は擧行せられたり先づ職員生徒が著席し次で來賓及び生徒の父兄保證人入場著席するや

■長谷川總督 は宇佐美内務部長官、關屋學務局長、釜屋海軍少將、齋藤副官、神田秘書官、大島副官等を隨へて入場、柴崎校長開式を告げ一同敬禮中に勅語を捧讀し卒業生九十一名に對する卒業證書を授與し次に五箇年皆勤楡田文男、三家本雅亮、岡田清治、松本淺次郎、鹿島政次郎四箇年皆勤清水勇生、青沼一郎、碓井忠平、鈴木隆、仁木重義三箇年皆勤四方田勇、戸谷萬雷、山岸守雄、鶴屋寅雄、二箇年皆勤加藤多喜二、渡邊浩三、渡邊松太郎、佐々木建業、中村正彦、小川玄益、黒瀬保郎、大宅敏夫、古屋清軒の各學生に對して

■皆勤賞狀を 授與し柴崎校長より一場の訓辭あり更に校長より野村藤隱先生の『騏子悲素絲、楊朱哭路岐、毫釐謬千里、須思擧歩時』及び大宰春台先生の『不掏糞尿不能成善農、不斷筋脈不能成善工、不傷肩背不能成善賈、不踏死地不能成善士』及び柴崎先生の箴言『健康は人生の基礎、誠實は諸德の根元なり、克己以て己を持し、寛恕以て人を待て、一日も忠孝の大道を忘るゝこと勿れ』と書きたる

■扇面を餞與し 之れに就て諄々たる訓誡あり後監督官として長谷川總督より卒業生一同に對し『諸子が五箇年間の勉勵今日の果を結びたるを悦び猶將來益々勤勉して國家有用の材たらん事を期すべし』との意味の告辭あり父兄總代として國分李王職次官より校長以下の教員諸氏に對する謝辭あり卒業生總代楡田文男氏答辭を朗讀し茲に式を終りそれより總督は擊劍場に於て各學年の

■擊劍選手の 仕合を觀たる後四時歸邸せられ卒業生一同は講堂に於て茶話會を開き師弟和気藹々として名殘の歡談を盡したり

京城中學校第五回卒業者(姓名いろは順)

楡田文男▲齋藤隆▲中部秀雄▲澤村重利▲上原秋三▲清水勇生▲佐々木秀夫▲村上政之▲上原生直人▲青沼一郎▲岡部敏▲洗醇▲廣津守雄▲碓井忠平▲小野功一▲四方田勇▲鶴岡孝太郎▲増田虎次郎▲今泉保夫▲上野正七▲加藤多喜二▲海江田貢▲渡邊浩三▲宮川渉▲三宅喜代治▲江島保▲稲井成雄▲三家本雅亮▲渡邊松太郎▲佐々木建業▲有江榮次郎▲中村正彦▲小川玄益▲岸川周一▲岡田清治▲黒瀬保郎▲古城萬壽夫▲林廣平▲松原圖南▲國分英三▲三谷理三▲上田稔二▲國分雄吉▲茂木敏一▲木村彌太郎▲田中金治▲大宅敏夫▲田中敢雄▲仁子晴雄▲三好十六▲松本淺次郎▲市川一男▲城榮一▲石川忠文▲武田獨▲熊澤金一▲内山清▲萩野正俊▲小野道▲吉岡長次郎▲丸中德三▲土井麟太郎▲藏石鐵▲戸谷萬雷▲鈴木隆▲堀川澄和▲横山博▲荻田亮▲園弘良正▲樋上清一▲林部浩▲仁木重義▲野村左武郎▲鹿島政次郎▲小森井守▲松村詩男▲古捷田生三▲阿部武人▲林光國▲山岸守雄▲古屋清軒▲高田修▲賀來寶雄▲堤重紀▲關戸春雄▲大倉俊一▲佐々木利雄▲青木勝哉▲松尾英雄▲上野敏勇▲永江一郎

迷の夢の醒るまで抑留

固つた放蕩者

釜山寶水町二丁目薪炭商谷口みつの長男勇夫(一九)と云ふ少年は昨年夏頃より放蕩を始め綠町遊廓正直樓抱へ娼妓小富事石川久野(二二)の許に通ひ居れるを實母のみつが感付きその不心得を諭したるも勇夫は更らに改悛せず時々居の

▲金を持出し 通ひ居るより母親も可愛い子の行末を案じ正直樓に赴き主人に對し今後勇夫を登樓せしめぬやう懇々頼み置きしも先方は商賣柄表面は體好き挨拶を爲し裏面にては小富を煽動して勇夫を呼寄せ小富は夫婦約束を爲したるより勇夫は徐々有頂天となり遂に去る十日實母の金百五十圓を持出し正直樓に押上り小富の前借百三十二圓を篩張りと仕拂ひ連れ出さんとする際

▲勇夫の實母 が其れと勘付き正直樓に馳付け見れば斯くの始末に吃驚し涙乍らに樓主にも返金を迫りしも小富は更に承知せず勇夫は小富と添はれねなら死んで仕舞ふと駄々を捏ね樓主も取合はぬより母親も困じ果て釜山警察署へ保護を願出でたり同署にては十二日勇夫及び小富を呼び出し説諭を加へ持出せし金を返戻すべく懇々非理を説き聞かせしも更らに二人は聞入れず係りの警部に向ひ

▲晴れて夫婦 になれるやう母親を呼び出して説諭を加へられたしと口を揃へて頼みしより係官も呆れ返り兎も角勇夫は迷の夢の醒むる迄同署に抑留し小富は樓主に預け諭すしむることゝなしたるが小富は同日廢業屆を濟して郷里に歸る仕度し居れりと(釜山)

計略の裏を掻れて藪蛇を突いた男

仁川寺町東郷旅館に宿泊中の平山巒太郎は數日前宮町周旋業松田宇一同雇人森山周作の兩人を相手取り詐欺誘拐の告訴をしたが取調の結果同人は敷島遊廓入船樓抱娼妓なりし加藤ふきと夫婦約束をし同女及び母のつぎを言葉巧みに欺いて一儲けせんと企て昨年末頃つぎより百圓出金させ自分も七十五圓程調達し入船樓に赴いて落籍せんとしたるも四百圓の前借ある爲め値段折合はず止む無く前記周旋業松田方にふきの住替を依頼し松田は店員森山をして京城に出張させ森山は京城南米倉町周旋業阿部方に赴いて兩人相談の上ふきを二百五十圓にて住替へさせ平山には一言半句の挨拶も無く金錢の授受を終りしよりうまく計畫の裏をかかれて一文にもならず其上東郷旅館よりは二三日中に無錢宿泊の廉で訴へらるる處より苦し紛れに藪蛇の告訴をしたるが判明し散々油を取られて罷り下りしと(仁川)

◎活動辯士少女を誘拐す

愛媛縣周桑郡三芳村生れ當時平壤府活動寫眞常設館歌舞伎座附活辯で詐欺前科一犯大西政秀(二三)は昨年四月頃より町遊廓東洋樓抱へ娼妓若浦こと馴染を重ね繁く通ふ中若浦の妹分として同樓に抱へ居れる和歌山縣人大西ひさの(一二)を欺き自分の女房にするとて二月二十三日窃に東洋樓を連れ出し泉町今井方に潜伏せしめ置き己れは京城長橋町通り料理店新月に向け出發し周旋する女四名あり三名は自分が近日中京城黄金館に轉ずべければ其節連れ行くべし取敢ず一人分の旅費として電報爲替にて金四十五圓を泉町今井方山本すゑに送るべしと申送りたるに同料理店より電報爲替にて送り來りしより平壤局にて三月二日該金を引出さんとせし際係員より山本すゑの委任狀及び認印を要する旨を指示されて委任狀及び印判を僞造し再び同局に到りて該金を引出さんとして平壤署の寺田刑事に取押へられ取調中なるが其後同人には他に餘罪續々發見され引續き同署に於て取調中なり

爆發藥を床下に隱匿す

愛媛縣宇摩郡川野江町生れ當時大邱北大山通り雜貨商石川虎吉(四六)は朝鮮沿海にて爆藥漁業に從事する漁夫と連絡を取り内地よりダイナマイトの密輸入を謀り昨年以來盛んに供給を爲し暴利を貪り居たりしに同人の部下なる釜山洲岬靈崎好太郎の弟漁夫小中竹次郎(三一)同吉村一(三二)は好太郎の漁船に乗込み巨濟島沿海にて不正漁撈を爲し居たるを統營警察署に於て檢擧し取調べの結果虎吉の不正行爲發覺し虎吉の取押方を釜山警察署に依賴し來りしに依り搜索中のところ虎吉は釜山南濱町一丁目十八番地植村嘉十郎方に安東はるゑ(三三)と共に潜伏し居り多數のダイナマイト及び雷管並に導火線を床下に隱匿し居たるより有無を云はせず釜山署に引致取調べ中なりと(釜山)

◎愚民を欺き金を捲き上ぐ

慶北金泉郡梨谷面公明里居住林分烈(五四)といふ癩病婦は數年前迄は乞食をなして各地を徘徊しつゝありしが其後前記の地所に居住し里民の救護を受けて僅に糊口を凌ぎ居れる内昨年九月頃より『自分は神夢に依り鬼神の力を以て醫藥を用ひず萬病を全治すべし』と流言をなしたるより金泉は勿論遠く漆城、善山、軍威等諸郡地方より日々數名或は十數名の老幼患者來りて治療を乞ふに至り分烈は此等の者に對し何病なるやと問ひ直に歸宅せよ何日頃には全癒すべしと告げ各人より一錢乃至五錢或は二十錢を徵收し居れることを金泉分隊に於て探知し之が行爲を差止め警察犯處罰規則に依り同人を拘留五日に處したるに其後又も繼續せしより十一月中科料十圓本年一月中拘留七日に處し嚴重訓戒したりと

◎乃木將軍事蹟講演會

日出小學校にて

故乃木將軍事蹟講演會長青木猜遊氏は十三日午後一時半より日出小學校に於いて同校及び櫻井小學校生徒五年級以上を集め今まで世に知られざる故乃木將軍の事蹟の講演を爲したるがその講話は孰れも有益にして趣味多く西大門外京城各小學校より職員一名宛來聽せり因に兩三日來故乃木將軍事蹟講演會及び應援京城日報社の名を以て青木猜遊氏來京につき逸事講演會開催の際來聽ありたき旨及び講演會純益は明治神宮院へ寄附する旨の印刷物を市中に頒布せるものありたる由なるも右は本社の知らざるところにして印刷物の頒布及び同會の金錢處分上のことに關しては本社は一切關係なし

◎劇藥自殺

京城黄金町二丁目二六俥夫金明造母崔召史(三〇)は十三日午前十時頃自宅溫突内にて洗濯用苛性曹達を仰ぎて自殺を企て苦悶中を家人が發見し應急手當を加へしかば生命に異狀なかるべしと原因は伜明造が過日組合帳場の現金六十圓を拐帶逃亡したるより之を悲觀したるものなりと

◆漢江一帶渡船開始

高陽郡及び楊州郡の一部に沿へる漢江は平年に比し著しく堅氷なりしが昨日來の暖氣にて漸次解氷に向ひ氷上渡渉危險なるより目下該地方一般渡船業者は破氷に從事し京城分隊管內德沼里蠶島等の渡船場は三月一日より又其の下流の一帶にては何れも同五日より渡船を開始せり

◎中等學校卒業式日割

中等程度各學校卒業證書授與式日割左の如し

學校名	月日	時刻
京城專修學校	三月二十日	午前十時
京城公立高等女學校	三月廿二日	午前十時
京城工業專門學校	三月廿二日	午後二時
京城高等普通學校	三月廿三日	午前十時
京城女子高等普通學校	三月廿四日	午前十時
京城中學校附屬臨時小學校教員養成所	三月廿四日	午後一時
京城醫學專門學校	三月廿七日	午前十時
平壤女子高等普通學校	三月廿六日	午後
平壤高等普通學校	三月廿六日	午前
▲以下私立學校		
培材高等普通學校	三月十九日	午後三時
善隣商業學校	三月二十日	午後三時
淑明女子高等普通學校	三月廿三日	午後一時
進明女子高等普通學校	三月廿六日	午前十一時
養正高等普通學校	三月廿七日	午後一時
東洋協會專門學校京城分校	三月廿十五	午前十時

◎一萬圓強盜公判

▽廿二日釜山法院にて

昨年十二月卅一日午前五時頃朝鮮銀行釜山支店員が兩替の爲め釜山棧橋に行かんとする途中を擁して車夫に斬り付け負傷せしめ同行員の携へたる約一萬圓在中の金庫を奪ひて逃走したる島内宗雄(二九)の公判は來る廿二日釜山法院にて開廷さるべしと(釜山)

◎崇仁洞の火事

京城崇仁洞九七番地鄭大奉方より十三日午前一時五分頃出火し居るを南山町消防詰所望樓にて發見し南大門詰所より水管自動車出動して消防し同四十分消し止めたり同人方は極めて古き建物にて藥種の温突六間を燒失したるが人畜に死傷なく損害原因取調中

◎千圓を詐取す

京城西小門町居住古物商金斗植(五五)は昨年十一月中江原道伊川郡鶴鳳面李喜奉より狀の買收方を依賴されたる際喜奉の代人なる高錫浩より二回に金千圓を詐取したる事露顯し此程京城地方法院にて懲役十箇月の判決を受けしも不服として同覆審法院に控訴せしも棄却となれり

◎腸窒扶斯發生 仁川花平里五百一番地船乘業李道文妻金氏(二八)は十一日仁川警察署に於て施行したる檢病的戸口調査の折病狀怪しきを認められたる結果井上醫師出張診察したるに腸窒扶斯と診定直ちに隔離の上交通を遮斷したるが系統は二月下旬附近に二名同病に罹りたるより見ればこれより感染したるならんと(仁川)

◎佛教講話會

仁川の佛教青年會にて十一日夜淺草海應師を招聘して精神講話を開きたることは既報の如くなるが聽衆者百餘名に達し近來稀なる盛況なりき

◎塵芥肥料の拂下

光熙門外京城府塵芥處分場に於ける塵芥の腐土は果樹、蔬菜、花作等の肥料に適當にして東拓李王職其の他に於ては從來使用せるが其の成績良好なり本年中央試驗所に於て分析試驗の成績は原品百分中窒素〇、二四燐酸〇、六六加里〇、三一なるが肥料として有效なるのみならず地質を變更する等著しき効果あり漸次施肥の季節に向ひ拂下希望者續出の傾向なりと云ふ希望者は京城府衞生實行事務所電話一七七四番に申込あれば指定請負人に命じ撰別したるもの馬車一臺に付七十錢内外にて供給せしむる筈なりと

◎書畫骨董常時陳列

京城府大和町一丁目朝鮮美術同好會にては今回每月例會を除き外に常時美術參考品及び依託品の陳列を爲し傍ら内地支那朝鮮の新古美術品を紹介し且つ會場は例會以外の日に限り個人或は團體にて催す各種の集會場に便宜貸與する由同所は和洋室十數間より成る大家屋にして庭園あり茶會好適の場所なり因みに同所は例會以外は一般入場縱覽隨意の由

♣漫畫子の見た『藝妓配當問題』

一、線香の値上げで有卦に入つたのは一本について五錢づゝ貰ふ事になつた藝者連中、兎に角座敷へ罷り出て活動の噂でもして居れば線香の煙のゆら〳〵と立ち登る毎に一時間金五錢也は自分の物となる二、しかし世の中は意地がいゝやら惡いやら、六時間稼いで直ぐにお汁粉六杯と簡單には行かず配當金は必らず積んで貯金せいと嚴いお達し、然かも通帳は券番の金庫の中で多寡を覗ふの態三、月々の働きで通帳の預け入欄が黒くなつてくると腹を痛めた子供にでも逢ふやうに配當の塊にお目にかゝりたくなる『チョイと哥兄さん妾の貯金下げて頂戴な』と鼻を鳴して行つても券番の書記は馴染のお客のやうに甘くはないので、貸し澁る質屋の番頭のやうに首を振る、そこで窮すれば通ず、お母さんや妹が時々病氣になる四、算盤と花山帳の睨め競で自分の子供が育つてゆくやうに券番に預けた貯金帳を大切にしてゐた者は廢業する時分には藏が出來て引出してばかりゐた連中は反對に質の通ひに壓し潰される。

―(波瀾重疊曲折に富む蔚山白骨事件の經路)―

蟲榮に憧憬れ婬奔極る後妻政子の愛は『冷たい嵐』となつて長吉(阪本)を蔚山に追つた、怪しれぬ極寒の異境道に五千圓の資本は鳥のやうに飛んだ。父母の制止も松風と聽き流し二千圓を懐ろに農事經營や山林相畑買占や鮮人相手の貸殖は僥倖にも圖に當り半歳足らずに數萬の富を積んだ、幾夜冷たい孤獨の閨に不自然の抑制を重ねたが、肉の香に飢た彼れは酒!女!と榮華の夢路を辿り始めた、腹黒き彼の千代七太郎(長阪)は彼が酒色に荒ぶ時慾の世界に走つた。中原の鹿妖婦タカを射落すべく主從の間に『戀の鞘當』は演せられ茲に無端も『悲劇の序幕』は切つて落された……。時は明治四十四年燕暑き七月の夕暮源吉は七太郎に太刀魚を脊負せ長生浦より踊りかけ爭は主從の間に繰返された『怨みの棍棒』は振揚られた……哀れ源吉の魂は永く大和川畔に迷ふた……。源吉か凡ての『財産を横領して神戸に引揚げた七太郎は巧みに阪本一家を欺いたが一種の恐怖は常に彼を襲ふた……酒…女…酒…こうして七太郎は悶より脱れようとした、怜悧の弟森吉と妹君江は七太郎を復讐―證據調―苦肉の策は二人の間に畫かれた……下女に住込んだ君江は七太郎の袖より兄源吉か首と引換の『水晶の印』を發見し て彼女は夢かと喜んだ……七太郎は拘引された……神戸檢事廷で檢事と源吉殺しを自白した七太郎は釜山地方法院で『殺人を否認』した……驚いた森吉と君江は無念の血淚を藩陰の涸に遠慮なく泣いた……復讐の念は漸く堅く肝に刻まれた證據調査に可憐の二人は旅立つた……。御石に腰高き源吉殺事件も歲月と共に消へ悪魔七太郎の刑期も後數ケ月となり危く放免されやうとした時不圖も以前の大事件が發生した、それは大正四年の五月大洪水の時大和川は氾濫し何者とも知れぬ上半身裸の屍體が浮上つた、森吉と君江は此白骨の『黒き死體』を見て兄源吉だと叫んだそれは誠であつた……大活動を起した蔚山警察署は賊鬪より覺醒した、醫學上、鑑月が互り遂に學理上の調査と研究は遂られた動す可らざる證據は蒐集された兇悪七太郎は刑期滿て監獄の門を潜うとする時殺人罪の今狀は執行された大正六年十二月九日より十六日迄釜山地方法院で公判は開れた『死刑の宣告』は嚴に兇悪七太郎に下された。兄妹は狂喜せん斗りに喜んだ、源吉の白骨も笑つたかくして前後七ケ年に互る蔚山の怪事件も可憐の兄妹が働きに復讐の目的は遂せられ完結の幕に閉ぢられた(經路約千百字)……

當る三月十四日より 特別大興行

釜山朝鮮時報其他各地新聞に連載され天下の耳目を驚倒し半島の人心を寒からしめたる

□蔚山白骨事件の眞想!!

大正美談 文明の復讐

連鎖實演 ― 蔚山鮮人部落酒幕の場 釜山地方法院公判廷の場

◇聞け夜陰に響く悲哀の朝鮮俗謠を!

◇見よ蔚山に埋し大和河畔の大悲惨事を!!

馬鹿八一行出演 新派喜劇 片羽鳥 全八幕

丁國ノルヂスク會社 泰西大探偵劇 カルロス 全四卷

〔平素の愛顧に酬ゆる爲め普通料金にて御觀覽に供し候〕

早川演藝部 電話二六三七番

黄金館

見よ!高尚なる營業振りと事毎に意表に出る早川演藝部の大活躍を見よ!

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百六 袖の涙 「二十」の一

「ねエ、絹ちやん、お前さん見たよにくよ〳〵してるもんぢやなくてよ。此の樣な稼業に身を落したら落したやうに、少しはテキパキと爲るもんだわ。白粉だつて、髮の梳きやうだつて、お屋敷や何かとは譯が違ふからね、襲の邊から腮の邊を淺く塗けて、挿み上げのところだつて、モヂを鶴さりと毛が垂つて居なくちや、艶ぽく見えや爲ないわ。あら、厭だわ、絹ちやんは、妾、お前さんを意氣だと思ふから、親切に敎へて逢げてるんぢやないの。それだのに、壁の方を向いて、溜息ばかし吐いてるんですもの。」

薄菊石のある鼻低な眼角の鋭い二十恰好は、今妻湯から踊つて來て、鏡臺の前へ坐るや否、安白粉を頻りと頸首から乳首の邊までなすり付けつゝ、側らにきちんと坐つたなりの絹代に向つて、のべつ幕なしに饒舌つて居るのであつた。

「いえ、決して溜息ばかし吐いて居るんぢや御座いませんの。何も彼も目新しい事はツばかりなので、ついどぎまぎして居る所なんです。」

絹代は、義理に迫つたやうな顔を爲て、迷惑さうに低く答へた。

「目新しいと云つて、お前さん、十二階下に居る女だつて、女は女に違ひないでせう。少し普通の女と違つてる所は、御飯が二食で、お夜食がお客さまの懷中を當に爲る位のもんだわ。それにお前さんだつて、もう此家へ來てから五日にもなるでせう。今夜からは、什うしても、お坐敷に出て貰ふんだと、主婦さんが言つてしよ。おツ、お坐敷と云へば、昨夜も遲くなつてお蔦りになつた色の淺黑い金縁を掛けた留學生だとか何とか言つてる原口さんと云ふ方ね今夜も屹度入つしやるに違ひなわ」

「まあ、妾………お寅さん、そんな事を被仰らずに頂きたう御坐います。」

絹代はぶる〳〵つと身顫ひを爲ながら、壁の方へ尻込みするのであつた。

「あら厭だ、絹ちやん見たいな人はありや爲ないのね。誰だつて、好んでこんな稼業へ足を突ツ込む者は、有りや爲ないけれども、時の成行なら仕方がありや爲ないわ。」

「お寅さん、御親切を無に爲るんでは座いませんがその事丈は……主婦さんも恰度今お留守のやうですから、お話致しますけれども、妾、實は個此方の家へ來ますまでは、こんな御商賣の家とは知らなかつたんで御座います。詐り、妾のおろかな爲めに欺まされたんでは御坐いますけれども、妾の身體には、仔細あつて、什うあつても男の肌を觸れる事が出來ないんで御坐いますから……」

「驚いちまうわね、本統に。戯談も休み〳〵言ふもんだわ。それぢやお前さんは、不具にでも生れ付いてるの。」

お寅は、白粉の手を息めて、くるりと此方へ向き變りながら詰つた。

「いえ、不具と云ふ譯ぢや御坐いませんが、少し言ふに言はれない事情が御座いますので……」

「駄目よ、絹ちやん、妾は只朋輩の誼だから、お前さんの言ふ事を默つて聞いて居ても進げますがね、彼の爵重屋の主婦さんが、そんな生温い理屈で承知するもんですかね。第一もう八十圓のお金を、お前さんの身代金として、疾の昔に彼の銀さんとか云ふ棟梁の手へ渡して了つてあるぢやありませんか。お前さんが什うあつても、商賣が厭と言ふなら、八十圓のお金を耳を揃へて、主婦さんの前へ並べるより外は途はありや爲ないわ。聞けば、銀さんとか云ふ棟梁は、自分の昔馴染を取たとか張つたとか云ふ事件で、そのお金を懷中に何處かへ逐電して了つたんだつてね。何の道お前さんは、もう不動の金縛りに會つてるやうなもんだわ。ほ、ほ、ほ、ほ。」

お寅が笑ひ方の鬪情のなさ加減と云つたらなかつた。

皮徽科 皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障礙
入院隨意 (診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元二丁町) **佐藤醫院** (電話一一七三番)

木浦金融概況

新春以來內地米價は兎角に軟調を辿りしが當月市に於て農商務省が大正五年度米實收穫五千八百餘萬石と云ふ意想外の大豐收高を發表するや氣配は一入軟弱に傾き爾來多少の引渡しを見たるも大勢非にして伸力乏しく一面産地に於ける移出米は相場の不味より益々荷捌困難となり自然爲替の決濟も澁滯を免れずして新規取引愈々閑散となり且叉籾の出廻りも納税關係にて小口ものは一順出盡し大口ものは相場の下落により賣惜手放さず爲めに當用必需口の買緊ぎの外見るべき取引行はれざりき只濟州島方面に於ける食料品の不足は粟韓國米の如き安價品の需要を促し此方面多少見るべき取引行はれたるに過ぎず棉花は出廻り愈々終末に近き日々の廻著薄けれども當月は市中思惑商人の放賣もの多かりし爲め當地共同買入所は約八十萬斤を買付けたり相場は時局に翻弄され暴落甚しく當業者は賣退の機會を捉ふるに頗る困難を感じ居る模樣にして未だ一個だも手放すに至らず爲めに此方面の資金は尙固定の域より脱する能はず移入界一般に賣行活氣乏しく春向用絹糸布類の移入相應にありしも寒氣料絹にて未だ需用期に入らざる爲め荷動少く市況概して沈靜の狀にあり要之當地方の金融は米穀綿花代金の撒布により一時活躍せしも徴税によりて此等資金は漸次吸收され米價の不味と相俟つて地方は幾分緊縮の度を加へたるが如きも金融は漸次緩漫に傾き來れり(木浦朝鮮銀行支店)

電力を海外へ輸出す

瑞典は人も知る如く水力電氣の豐富な國柄であるが丁抹は天然的に電力發生の資源が乏しい、其處で瑞典では海峽を隔てゝ居るにも拘らず電力の輸出を企てスマランドのラガと云ふ小川の畔に電力發生所を起した其處から「ヘルシグボルグ」港まで架空電線で、同港から對岸丁抹ゼーランド島のエルシノール港までは三線の海底電線に依つて送る計畫である尤も海底の距離は四哩許りであるから海底線沈沒の費用は太したものであるまい、該發電所は當分五百馬力だけ丁抹に送る筈であるが次第に工場を擴張して追つては五千馬力に增加する契約であるから經營甚宜しきを得たら充分なる利益を見ることが出來るだらうと云ふ

大田湖南吟社句集

(三月十日於風雅庵)

雛

微醉秘す袖の長きに桃の酒　中京
電球を覆ふ緋布や雛の灯に　春三女
雛市に傘の女や桃の雨　同
雪洞は消えて雛のさゝめ言　十亭
笑ましげに頬擦る雛の鼻缺けし　十市
雛市更けて塵漂ふ紅き灯に　同
雛の宵拗ねたる主人撫ですかす　不倒
緣先に雛を罵る竹馬哉　桃雨
半生の私語を雛に疎まれし　同
事寄せて形見雛への口說言　待宵
雛壇の上に一本の槍古りし　紅星
片雛の戀に詫びてや後向き　風骨
押納雛の夜を出て夢　同

菫

寢轉ふ芝生詩集飽く菫眼に　春三女
野路の菫に列亂るゝよ女學生　同
大佛は眠りておはす菫哉　十亭
調馬日頃一日を菫野へ　待宵
橋守の背延ひして居る菫土手　吟月
菫咲く落窪村の丸太橋　中京
青春の閨へ机上に凋む菫　不倒
菫妻毬ころげ緣に見泣つ居る　十市
蟒虫の私語菫野の月に　桃雨
橋を潜ると帆を下ろす船や花菫　風骨
白帆眼の前に松ケ岡なる菫哉　同

水温む

一筋に西湖の水の温みけり　十亭
牛皮鞣す部落の水の温み見　桃雨
濁世を曉すれば市井水温む　同
人垣す移植の穴や水温む　吟月
逃樂の久しき病軀も温む水　待宵
水餅の水も温むや甕の泡　名節
網打の濡腰簑や温む水　同
聖像刻む小刀研く水の温み　不倒
敷壕に徒食二日や水温む　十市
奔馬疲れを養ふ息や水温む　紅星
穴の鰻の針もぬけてや水温む　風骨
岩淵の河童の宿や水温む　同

新刊紹介

▲現代之圖案工藝(貿易品號) 製品に表はれたる輸出品の圖案石版刷數葉の口繪を初め海外貿易上本邦工藝品の圖案に關する記事十數を收め特集貿易圖案募集規定を發表せり(二十五錢東京市赤坂區青山南町二の四〇共社)
▲ザ、ユース(二二) 十二錢東京市麴町區內幸町ジヤパン、タイムス社
▲尙美堂時報(七五) 大阪市淀屋橋南詰尙美堂
▲月刊樂譜(三月號) 八錢東京市京橋區銀座四の四山野樂器店

廣告

購買入札 一邋査朝外四拾九品右購買ス入札希望ノ者ハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ 大正六年三月十四日 **警務總監部**

女工採用ス 尋常小學卒業者ニシテ年齡十五歲乃至二十五歲ノ希望者ハ自筆ノ履歷書ヲ持參スヘシ 大正六年三月 **總務局印刷所**

簿記生徒募集 六ケ月卒業卒業後ハ銀行、會社、商店等ヘ雜貨ニ就職照介ス規則書要二錢 京城明治町 **京城簿記專修學校**

●**募集**● 特設通信員採用前途有望月收四拾圓以上望者三錢切手封入至急申込あれ 東京市下谷區上野櫻木町五番地 日本農事改良同盟會本部

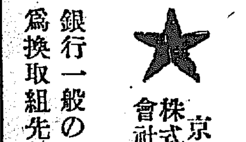
菊と朝顔 其他園藝花卉代價表ハガキにて申込め何人にも無代進呈す 尾張國一宮町 **中央農園**

亞鉛鑛、銀鉛鑛、銅鑛、鐵鑛。 右の鑛種に對し鑛區買入(先許可鑛區) 鑛業經營資金融通、鑛物買入 猶實地調査の部合有之候間御希望の方は至急御申込み被下度候 京城明治町一丁目七番地 **正己鑛業所** 主任 熊谷忠直 電話一五九番

最新刊

◉現代作家撰集 零落者の群 九五
◉詳解漢和大字典 服部宇之吉 小柳司氣太 共著 特製上製 特二五〇 並二〇〇
◉口語法 文部省編纂 四五
◉國民敎育工業讀話 三、〇〇
◉人を中心として見たる當來の文藝及思潮 一、〇〇
◉法令沿革小學校行事の研究 中島鍛三郎、今川伸之助共著 九〇
◉國語の組織 大島正健 一、〇〇
◉主要諸國文例英語の基礎 佐々木邦 一、〇〇
◉大正六年最近朝鮮事情要覽 六五
◉獅子吼 石川 一、三〇
◉無我の生活 新井石禪 九〇
◉佛蘭西文學 太宰施門 一、九〇
◉當世百道樂 堀內新泉 一、九〇
◉講談文庫柳生十兵衞 三〇
◉同 戸田新八郎 小金井蘆州 三〇
◉トルストイ人道主義の眞髓 七五
◉近代滿話文庫第一編 三勝半七 曲亭馬琴 四五
◉金沙集 芳野雅子 八〇
◉圍碁襲擊戰法 瀨越憲作 六〇
◉受驗必携朝鮮六法要論 安達大壽計 一〇四

京城本町一 電話六六〇・二〇六番 振替京城二五七三番 **大阪屋號書店**



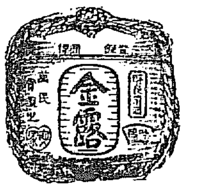
長壽藥品は「ヨーグルト」 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番
「荒井の牛乳」 滋養と健康の母は

產科 婦人科專門 (手術室完備) 京城明治町二丁目 **中央婦人病院** 院長 電話二三四〇番

神經衰弱特效 ユーキリン
榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス
粉末 廿五瓦入金七拾五錢 錠劑 百錠入金八拾錢
本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ說明書進呈ス、各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町 **三共株式會社**

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、魚血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、靑性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 **朝鮮肥料製造所** 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 **朝日石鹼製造所** 電話二五六四番 振替口座京城〇七〇四番

朝鮮唯一の設備 米國製十四金ペン卸小賣 **各種萬年筆製作 卽時修繕** 京城旭町二丁目



攝津灘 **大塚釀造所吟製** 京城本町二丁目 發賣元 **前田酒店** 電話一三七番 振替口座四二五番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 **石川醫院** 電話一二三七九・二二九番

Ⓚ **醫化學諸器械一式** 仁川本町 **北島藥店** 電話三三四・振替京城六七番 京城本町永樂町角 **北島藥店京城支店** 電話七六一番

藥種賣藥卸商

★ 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 **株式會社百三十銀行京城支店** 電話長五八番、一一九四番 振替貯金京城二一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

京日案內

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金一圓

▲申込後中途取消中止の節は前金返却せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會は返信料に非ざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通: 意志と身體と健全にして不遇路頭に迷ふ……不幸の人は來れ▼ 京釜線鷺梁津 荒井德一 682
◎低利信用融通 尙地所 百三〇坪東亞煙草裏三五坪外一 龍山漢江通六番地七二伊勢屋 前 684
◎配達人 至急入用志望の者は本人直々來談の事 京城黃金町三丁目 安藤病院橫 京城新聞社 679
◎融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替御用又は御來談 京城大和町三の三二(柄驛前)起木屋 677
◎鮮人石版印刷技工熟練者數名募集 精巧者には高給を給す 京城黃金町三丁目二九一 大盛堂印刷所 675

番外: ◎礦物定量分析 太平町一丁目二五電話長一三四四 朝鮮公論社小路 坂元分析所 681
漢江船積運送開始 龍山元町漢江川岸(電話五九番) 西村商會運送部 683
ゴム風船◎ホーヅキ◎詰サック及附屬玩具品各種製造卸問屋御申越次第定價表無料進呈す 京城太平通二 電話二六〇六番 太陽ゴム商會 658
恩給年金 退隱料扶助料 卽時立替 證書確實保管 京城吉野町一ノ六九 電車停留場約一丁半上(元仲之新地入口前) 俵屋 613

▲山縣五十雄、村上唯吉共著 **富の道しるべ** 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

大邱浦項間自動車時間 上り 浦項發、安康同、慶州同、阿火同、永川同、河陽同、大邱著 / 下り 大邱發、河陽同、永川同、阿火同、慶州同、安康同、浦項著 (時刻 [illegible])
電話七番 **大塚農場自動車所** 電話一一七番 **大邱出張部**

金泉醴泉間自動車時間 上り 金泉發、龍宮同、咸昌發、醴泉著、尙州著 / 下り 醴泉發、龍宮發、咸昌發、尙州著、金泉著 (時刻 [illegible])
▲小荷物運搬仕り候 **金泉織居自動車支部** 金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽(天津)行 相模丸 三月二十日正午出帆 / 花咲丸 三月十一日正午出帆 / 弘前丸 三月 日正午出帆
仁川海岸町十一丁目 堀回漕部 電話

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○有吉丸 三月二十日後五時出帆 ○秀吉丸 三月十八日後五時出帆 ○君が代丸 三月十九日後五時出帆 ○神代丸 三月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 杉回漕部 電話五十九番

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 三月廿四日後五時出帆 / 立神丸 三月 日後五時出帆 / 山清丸 浦盬行
○元山、清津、浦盬行 和歌浦丸 三月 日後十時出帆 / 立神丸 三月廿三日後四時出帆 / 山西丸 新浦、城津、清津行 三月 日後六時出帆
○第三平丸 三月 日後六時出帆 / 門司、宇品、神戶、大阪行 第三蓬萊丸 三月 日
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日 (午後十時出帆) / ○天眞丸 日廿一日廿六日
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 伏見丸 三月十一日午後入港 三月十三日正午出帆 (關東都督府命令船)
朝鮮鐵道主要驛にては青島行定期船接續荷客共通取扱仕候 大連にては通し賃荷取扱仕候 阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會 / 元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部 / 京城取次店 南大門(電話二六八・二〇一七) 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路遠洋航路を除く同連絡船の乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 汕頭丸 三月十六日 / 濟州丸 三月十七日後五時出帆 / 山陽丸 三月 日
○群山、神戶、大阪行 天智丸 三月 日 / 濟州丸 三月 日正午出帆
×木浦、釜山、馬山、嚴原、郷の浦、長崎行 東丸 三月廿七日後二時出帆 / 安東丸 四月十三日
○群山、釜山、橫濱行 福州丸 三月二十日後二時出帆 / 潮州丸 三月卅一日
×群山、神戶、大阪行 濟州丸 月 日五時出帆
○鎭南浦、大連行 東丸 三月廿二日後二時出帆 / 安東丸 四月八日
○大連直航 福州丸 三月十五日正午出帆 / 潮州丸 三月廿五日
○芝罘、天津、浦盬行(元山出帆) / ▲印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 安平丸 三月十五日後十二時出 / 宮島丸 三月廿一日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 湖北丸 三月十三日前六時出帆 / 基隆丸 三月廿九日後四時出帆
御注意 ●朝鮮鐵道及び滿鐵各驛と聯絡切符發賣仕候 ●約一時間前御乘船相成度候 ●×印は本船出帆 ○印は一時間前に出帆 △印は船客取扱可致候
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・二二〇番・五五〇番 內國通運會社京城支店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五・一二一三番
朝鮮鐵道各社驛外船上荷客通關運送の便あり詳細は本社及支店出張所代理店に御問合あれ 京城荷客取次店 南大門驛前 松原運送店(電話長一七〇番)
○全羅丸 月 日 ○京畿丸 三月廿六日 ○黃海丸 三月三十日 ○成鏡丸 三月廿一日 門司より釜山各港寄港群山間航路 釜山發
○咸鏡丸 三月廿三日 ○昌平丸 三月二十日 ○鏡城丸 三月十八日 元山より各港經由雄基行 元山發
○昌平丸 三月十九日 城津各港經由長崎行 元山發
○盛德丸 三月十五日 群山、九龍里、浦項各港經由蔚山行 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 長生浦方面各港 釜山發 浦項發
○三浦丸 三月十九日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶賓丸 每日 各港經由統營行 釜山發
○平壤丸 ○忠淸丸 三月廿三日 四月六日 城津清津雄基行 元山發
○順天丸 三月日曜日 各港經由麗水行 木浦發
○慶興丸 三月十八日 各港經由濟州島行 木浦發
○慶興丸 三月廿四日 南多島、海列島行月三回 木浦發
○公州丸 三月十六日 木浦發
○江原丸 三月十九日 芝罘、大連、青島行 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 三月廿一日 三月十八日 各港經由木浦行 仁川發
○錦江丸 三月十七日 海州他各港經由 仁川發
○湖州丸 月 日正午出帆 神戶、大阪行
○全州丸 ○南陽丸 每日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發